

■認定歴史的風致維持向上計画の変更箇所一覧(令和4年3月末)

様式1

市町村名: 大津市

変更後ページ	変更前ページ	変更内容	変更理由
序-5	序-5	表0-4-1大津市歴史的風致維持向上協議会委員構成、行政機関「木津勝、大津市歴史博物館副館長」	委員の交代による
序-7	序-7	表0-4-3意見聴取(ワークショップ形式など)を行った相手方一覧表(ヒアリング順)「1 瀬田南地域文化振興関係者」	記載されている団体として意見聴取を行ったわけではないため(変更前に記載のある「瀬田南学区歴史文化研究会」の一部の意見を聴いた)
2-1-11	2-1-11	写真番号の修正 「写」2-1-23	「写」で番号をふるべきところを「図」で番号をふっていたため
2-2-6	2-2-6	写真番号の修正 「写」2-2-17	「写」で番号をふるべきところを「図」で番号をふっていたため
2-3-5	2-3-5	本文下から三行目、「玉依媛命」	祭神の名称について、宛てる漢字の修正依頼があったため
2-8-15	2-8-15	見出し番号の変更 3-「3」. 早尾神社と蛇の顔見世、例祭 3-「3」-1. 早尾神社 3-「3」-2. 蛇の顔見世、例祭	番号の振り誤り
2-8-17	2-8-17	見出し番号の変更 3-「4」. まとめ	番号の振り誤り
2-12-6	2-12-6	写真番号の修正 写「2」-12-10	番号の欠落
5-7	5-7	<関連事業>15.地域固有の歴史・文化遺産の発信	事業名称の変更による
6-1	6-1	表6-1-1 2所管課:都市魅力づくり推進課	所管課の変更による
6-2	6-2	表6-1-2 9.10.17所管課:都市魅力づくり推進課	所管課の変更による
6-2	6-2	表6-1-4 15.事業名:地域固有の歴史・文化遺産の発信 所管課:都市魅力づくり推進課	事業名称の変更による
6-12	6-12	15.地域固有の歴史・文化遺産の発信	事業名称の変更による
7-3	7-3	歴史的風致形成建造物の5を「旧岡本家住宅 主屋(増築部分を除く)、米蔵、馬屋、石垣及び土塀、敷地(庭園、石造物、礎石を含む)」に名称変更	歴史的風致形成建造物の構成要素を追加するため
参-1	参-1	「春秋経伝集解巻第廿六残巻」「春秋経伝集解巻第廿九残巻」の指定年月日「M33.4.7」	記載内容の誤り
参-3	参-3	「石山寺宝篋印塔」の指定年月日「S36.3.23」	記載内容の誤り
参-5	参-5	「銅造薬師如来立像」の時代「飛鳥」	記載内容の誤り
参-6	参-6	「銅造釈迦如来坐像」の時代「飛鳥」	記載内容の誤り
参-6	参-6	「木造地藏菩薩坐像(所在本堂)」の所在地「大石龍門五丁目」	記載内容の誤り
参-6	参-6	「木造獅子狛犬」の時代「平安」	記載内容の誤り
参-9	参-9	「紙本墨画叡山図」の指定年月日「H23.3.19」	記載内容の誤り
参-9	参-9	「彫刻 木造菩薩立像 平安 松禅院 坂本本町 R3.2.16」を追加	新指定
参-9	参-9	「彫刻 木造地藏菩薩立像 平安 松禅院 坂本本町 R3.2.16」を追加	新指定
参-9	参-9	「信楽 矢筈口水指」の指定年月日「H2.3.24」	記載内容の誤り

変更後ページ	変更前ページ	変更内容	変更理由
参-10	参-10	「近江輿地志略」の指定年月日「H18.3.17」	記載内容の誤り
参-10	参-10	「書跡、典籍、古文書 四分律刪繁補闕行事鈔断簡 奈良 聖衆来迎寺 R3.2.16」を追加	新指定
参-10	参-10	「考古資料 桜生七号墳出土品 古墳 滋賀県 京町四丁目 R3.2.16」を追加	新指定
参-10	参-10	表 資料1-4 の項目「選択年月日」	記載内容の誤り
参-10	参-10	「大津祭」の選択年月日「S32.12.19」	記載内容の誤り
参-15	参-15	「實成坊門」「徳乗坊門」「真盛園講堂(旧専門学寮講堂)」「安養院庫裏」「安養院門」「安養院地蔵堂」「安養院礼拝堂」の登録年月日「H13.10.12」	記載内容の誤り
参-15	参-15	「葛野常喜家住宅主屋」「大津魚忠」の登録年月日「H14.2.14」	記載内容の誤り
参-15	参-15	「葛野常喜家住宅蔵」、登録年月日「H14.2.14」	記載内容の誤り
参-15～16	参-15～16	「北川家住宅主屋」～「初田家住宅塀」の登録年月日「H22.4.28」	記載内容の誤り
参-17	参-17	主な相手先「瀬田南地域文化振興関係者」	記載されている団体として意見聴取を行ったわけではないため(変更前に記載のある「瀬田南学区歴史文化研究会」の一部の意見を聴いた)

新

旧

(表紙)

(表紙)

大津市歴史的風致維持向上計画

わがまちの風情あるまちなみと営みを次の世代へ

大津市歴史的風致維持向上計画

わがまちの風情あるまちなみと営みを次の世代へ



令和3年3月 大津市
(令和3年3月 改訂)



令和3年3月 大津市

■新旧対照表

新	旧																																																
(序-5)	(序-5)																																																
序章 計画の策定にあたって	序章 計画の策定にあたって																																																
<p>(1)大津市歴史的風致維持向上協議会</p> <p>歴史まちづくり法第11条第1項の規定により、大津市歴史的風致維持向上計画の作成及び変更に関する協議並びに実施に係る連絡調整を行うため、「大津市歴史的風致維持向上協議会」を平成30年（2018）10月1日に設置した。</p>	<p>(1)大津市歴史的風致維持向上協議会</p> <p>歴史まちづくり法第11条第1項の規定により、大津市歴史的風致維持向上計画の作成及び変更に関する協議並びに実施に係る連絡調整を行うため、「大津市歴史的風致維持向上協議会」を平成30年（2018）10月1日に設置した。</p>																																																
<p>表0-4-1 大津市歴史的風致維持向上協議会委員構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>氏名</th> <th>所属団体等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">学識経験者</td> <td>◎中嶋 節子</td> <td>大津市景観審議会副会長 京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授</td> </tr> <tr> <td>○宗田 好史</td> <td>大津市都市計画審議会会長 京都府立大学文学部 名誉教授</td> </tr> <tr> <td>加藤 賢治</td> <td>成安造形大学共通教育センター ／地域実践領域 教授</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">関係団体</td> <td>金子 博美</td> <td>おごと温泉観光協会 理事</td> </tr> <tr> <td>柴山 直子</td> <td>大津宿場町構想実行委員会 委員</td> </tr> <tr> <td>鷲尾 龍華</td> <td>石山寺 座主</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">行政機関</td> <td></td> <td>滋賀県土木交通部技監</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大津市都市計画部長</td> </tr> <tr> <td>木津 勝</td> <td>大津市歴史博物館副館長</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎：会長 ○：副会長 ※所属団体等は、令和4年4月1日時点のもの</p>	区分	氏名	所属団体等	学識経験者	◎中嶋 節子	大津市景観審議会副会長 京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授	○宗田 好史	大津市都市計画審議会会長 京都府立大学文学部 名誉教授	加藤 賢治	成安造形大学共通教育センター ／地域実践領域 教授	関係団体	金子 博美	おごと温泉観光協会 理事	柴山 直子	大津宿場町構想実行委員会 委員	鷲尾 龍華	石山寺 座主	行政機関		滋賀県土木交通部技監		大津市都市計画部長	木津 勝	大津市歴史博物館副館長	<p>表0-4-1 大津市歴史的風致維持向上協議会委員構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>氏名</th> <th>所属団体等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">学識経験者</td> <td>◎中嶋 節子</td> <td>大津市景観審議会副会長 京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授</td> </tr> <tr> <td>○宗田 好史</td> <td>大津市都市計画審議会会長 京都府立大学文学部 教授</td> </tr> <tr> <td>加藤 賢治</td> <td>成安造形大学共通教育センター ／地域実践領域 准教授</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">関係団体</td> <td>金子 博美</td> <td>おごと温泉観光協会 理事</td> </tr> <tr> <td>柴山 直子</td> <td>大津宿場町構想実行委員会 委員</td> </tr> <tr> <td>鷲尾 龍華</td> <td>石山寺 住持</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">行政機関</td> <td></td> <td>滋賀県土木交通部技監</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大津市都市計画部長</td> </tr> <tr> <td>松本 浩</td> <td>大津市教育委員会事務局文化財保護課課長</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎：会長 ○：副会長 ※所属団体等は、令和4年4月1日時点のもの</p>	区分	氏名	所属団体等	学識経験者	◎中嶋 節子	大津市景観審議会副会長 京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授	○宗田 好史	大津市都市計画審議会会長 京都府立大学文学部 教授	加藤 賢治	成安造形大学共通教育センター ／地域実践領域 准教授	関係団体	金子 博美	おごと温泉観光協会 理事	柴山 直子	大津宿場町構想実行委員会 委員	鷲尾 龍華	石山寺 住持	行政機関		滋賀県土木交通部技監		大津市都市計画部長	松本 浩	大津市教育委員会事務局文化財保護課課長
区分	氏名	所属団体等																																															
学識経験者	◎中嶋 節子	大津市景観審議会副会長 京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授																																															
	○宗田 好史	大津市都市計画審議会会長 京都府立大学文学部 名誉教授																																															
	加藤 賢治	成安造形大学共通教育センター ／地域実践領域 教授																																															
関係団体	金子 博美	おごと温泉観光協会 理事																																															
	柴山 直子	大津宿場町構想実行委員会 委員																																															
	鷲尾 龍華	石山寺 座主																																															
行政機関		滋賀県土木交通部技監																																															
		大津市都市計画部長																																															
	木津 勝	大津市歴史博物館副館長																																															
区分	氏名	所属団体等																																															
学識経験者	◎中嶋 節子	大津市景観審議会副会長 京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授																																															
	○宗田 好史	大津市都市計画審議会会長 京都府立大学文学部 教授																																															
	加藤 賢治	成安造形大学共通教育センター ／地域実践領域 准教授																																															
関係団体	金子 博美	おごと温泉観光協会 理事																																															
	柴山 直子	大津宿場町構想実行委員会 委員																																															
	鷲尾 龍華	石山寺 住持																																															
行政機関		滋賀県土木交通部技監																																															
		大津市都市計画部長																																															
	松本 浩	大津市教育委員会事務局文化財保護課課長																																															
																																																	

■新旧対照表

新	旧																																																				
(序-7)	(序-7)																																																				
序章 計画の策定にあたって	序章 計画の策定にあたって																																																				
<p>(3)団体への意見の聴取</p> <p>歴史まちづくりを進める上での課題やアイデアを得ることを目的に、地域の歴史や文化について学習、研究を行っている団体や地域の歴史と伝統を反映した行事、活動を行っている主催者などから、ワークショップやインタビューの形式で意見の聴取を行った。</p>	<p>(3)団体への意見の聴取</p> <p>歴史まちづくりを進める上での課題やアイデアを得ることを目的に、地域の歴史や文化について学習、研究を行っている団体や地域の歴史と伝統を反映した行事、活動を行っている主催者などから、ワークショップやインタビューの形式で意見の聴取を行った。</p>																																																				
<p>表0-4-3 意見聴取（ワークショップ形式など）を行った相手方一覧表（ヒアリング順）</p> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>瀬田南地域文化振興関係者</td></tr> <tr><td>2</td><td>歴史まちづくりの未来を考える会</td></tr> <tr><td>3</td><td>われら平野探偵団、平野学区わがまちをつくる会</td></tr> <tr><td>4</td><td>唐崎学区文化協会史跡ガイドの会</td></tr> <tr><td>5</td><td>石山観光ボランティアガイド</td></tr> <tr><td>6</td><td>ふる里田上を考える会ほか</td></tr> <tr><td>7</td><td>膳所学区史跡ガイドの会、膳所歴史資料室ほか</td></tr> <tr><td>8</td><td>滋賀学区文化協会、宇佐八幡神社関係者</td></tr> <tr><td>9</td><td>古都おおつ観光ボランティアガイドの会</td></tr> <tr><td>10</td><td>滋賀学区文化協会、志賀八幡神社関係者、滋賀四村研究会</td></tr> <tr><td>11</td><td>大津の町家を考える会</td></tr> <tr><td>12</td><td>大津祭関係者</td></tr> <tr><td>13</td><td>比叡山坂本観光ボランティアガイドの会 石積み</td></tr> </table>	1	瀬田南地域文化振興関係者	2	歴史まちづくりの未来を考える会	3	われら平野探偵団、平野学区わがまちをつくる会	4	唐崎学区文化協会史跡ガイドの会	5	石山観光ボランティアガイド	6	ふる里田上を考える会ほか	7	膳所学区史跡ガイドの会、膳所歴史資料室ほか	8	滋賀学区文化協会、宇佐八幡神社関係者	9	古都おおつ観光ボランティアガイドの会	10	滋賀学区文化協会、志賀八幡神社関係者、滋賀四村研究会	11	大津の町家を考える会	12	大津祭関係者	13	比叡山坂本観光ボランティアガイドの会 石積み	<p>表0-4-3 意見聴取（ワークショップ形式など）を行った相手方一覧表（ヒアリング順）</p> <table border="1"> <tr><td>1</td><td>瀬田南学区歴史文化研究会ほか</td></tr> <tr><td>2</td><td>歴史まちづくりの未来を考える会</td></tr> <tr><td>3</td><td>われら平野探偵団、平野学区わがまちをつくる会</td></tr> <tr><td>4</td><td>唐崎学区文化協会史跡ガイドの会</td></tr> <tr><td>5</td><td>石山観光ボランティアガイド</td></tr> <tr><td>6</td><td>ふる里田上を考える会ほか</td></tr> <tr><td>7</td><td>膳所学区史跡ガイドの会、膳所歴史資料室ほか</td></tr> <tr><td>8</td><td>滋賀学区文化協会、宇佐八幡神社関係者</td></tr> <tr><td>9</td><td>古都おおつ観光ボランティアガイドの会</td></tr> <tr><td>10</td><td>滋賀学区文化協会、志賀八幡神社関係者、滋賀四村研究会</td></tr> <tr><td>11</td><td>大津の町家を考える会</td></tr> <tr><td>12</td><td>大津祭関係者</td></tr> <tr><td>13</td><td>比叡山坂本観光ボランティアガイドの会 石積み</td></tr> </table>	1	瀬田南学区歴史文化研究会ほか	2	歴史まちづくりの未来を考える会	3	われら平野探偵団、平野学区わがまちをつくる会	4	唐崎学区文化協会史跡ガイドの会	5	石山観光ボランティアガイド	6	ふる里田上を考える会ほか	7	膳所学区史跡ガイドの会、膳所歴史資料室ほか	8	滋賀学区文化協会、宇佐八幡神社関係者	9	古都おおつ観光ボランティアガイドの会	10	滋賀学区文化協会、志賀八幡神社関係者、滋賀四村研究会	11	大津の町家を考える会	12	大津祭関係者	13	比叡山坂本観光ボランティアガイドの会 石積み
1	瀬田南地域文化振興関係者																																																				
2	歴史まちづくりの未来を考える会																																																				
3	われら平野探偵団、平野学区わがまちをつくる会																																																				
4	唐崎学区文化協会史跡ガイドの会																																																				
5	石山観光ボランティアガイド																																																				
6	ふる里田上を考える会ほか																																																				
7	膳所学区史跡ガイドの会、膳所歴史資料室ほか																																																				
8	滋賀学区文化協会、宇佐八幡神社関係者																																																				
9	古都おおつ観光ボランティアガイドの会																																																				
10	滋賀学区文化協会、志賀八幡神社関係者、滋賀四村研究会																																																				
11	大津の町家を考える会																																																				
12	大津祭関係者																																																				
13	比叡山坂本観光ボランティアガイドの会 石積み																																																				
1	瀬田南学区歴史文化研究会ほか																																																				
2	歴史まちづくりの未来を考える会																																																				
3	われら平野探偵団、平野学区わがまちをつくる会																																																				
4	唐崎学区文化協会史跡ガイドの会																																																				
5	石山観光ボランティアガイド																																																				
6	ふる里田上を考える会ほか																																																				
7	膳所学区史跡ガイドの会、膳所歴史資料室ほか																																																				
8	滋賀学区文化協会、宇佐八幡神社関係者																																																				
9	古都おおつ観光ボランティアガイドの会																																																				
10	滋賀学区文化協会、志賀八幡神社関係者、滋賀四村研究会																																																				
11	大津の町家を考える会																																																				
12	大津祭関係者																																																				
13	比叡山坂本観光ボランティアガイドの会 石積み																																																				
<p>表0-4-4 意見聴取（インタビュー形式）を行った相手方一覧表（五十音順）</p> <table border="1"> <tr> <td>青鬼太鼓保存会</td> <td>堅田漁業協同組合</td> <td>供御人行列関係者</td> <td>幻住庵保勝会</td> </tr> <tr> <td>田上郷土史料館</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	青鬼太鼓保存会	堅田漁業協同組合	供御人行列関係者	幻住庵保勝会	田上郷土史料館				<p>表0-4-4 意見聴取（インタビュー形式）を行った相手方一覧表（五十音順）</p> <table border="1"> <tr> <td>青鬼太鼓保存会</td> <td>堅田漁業協同組合</td> <td>供御人行列関係者</td> <td>幻住庵保勝会</td> </tr> <tr> <td>田上郷土史料館</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	青鬼太鼓保存会	堅田漁業協同組合	供御人行列関係者	幻住庵保勝会	田上郷土史料館																																							
青鬼太鼓保存会	堅田漁業協同組合	供御人行列関係者	幻住庵保勝会																																																		
田上郷土史料館																																																					
青鬼太鼓保存会	堅田漁業協同組合	供御人行列関係者	幻住庵保勝会																																																		
田上郷土史料館																																																					
<p>(4)文化財所有者への意見の聴取</p> <p>歴史まちづくりを進める上での課題やアイデアを得ることを目的に、文化財所有者などからインタビューの形式で意見の聴取を行った。</p>	<p>(4)文化財所有者への意見の聴取</p> <p>歴史まちづくりを進める上での課題やアイデアを得ることを目的に、文化財所有者などからインタビューの形式で意見の聴取を行った。</p>																																																				
<p>表0-4-5 意見聴取を行った文化財所有者一覧表（五十音順）</p> <table border="1"> <tr> <td>石山寺</td> <td>伊豆神田神社</td> <td>伊豆神社</td> <td>石坐神社</td> </tr> <tr> <td>宇佐八幡神社</td> <td>近江神宮</td> <td>神田神社</td> <td>志賀八幡神社</td> </tr> <tr> <td>篠津神社</td> <td>新宮神社</td> <td>関蟬丸神社</td> <td>膳所神社</td> </tr> <tr> <td>建部大社</td> <td>近津尾神社</td> <td>野神社</td> <td>平野神社</td> </tr> <tr> <td>和田神社</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	石山寺	伊豆神田神社	伊豆神社	石坐神社	宇佐八幡神社	近江神宮	神田神社	志賀八幡神社	篠津神社	新宮神社	関蟬丸神社	膳所神社	建部大社	近津尾神社	野神社	平野神社	和田神社				<p>表0-4-5 意見聴取を行った文化財所有者一覧表（五十音順）</p> <table border="1"> <tr> <td>石山寺</td> <td>伊豆神田神社</td> <td>伊豆神社</td> <td>石坐神社</td> </tr> <tr> <td>宇佐八幡神社</td> <td>近江神宮</td> <td>神田神社</td> <td>志賀八幡神社</td> </tr> <tr> <td>篠津神社</td> <td>新宮神社</td> <td>関蟬丸神社</td> <td>膳所神社</td> </tr> <tr> <td>建部大社</td> <td>近津尾神社</td> <td>野神社</td> <td>平野神社</td> </tr> <tr> <td>和田神社</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	石山寺	伊豆神田神社	伊豆神社	石坐神社	宇佐八幡神社	近江神宮	神田神社	志賀八幡神社	篠津神社	新宮神社	関蟬丸神社	膳所神社	建部大社	近津尾神社	野神社	平野神社	和田神社															
石山寺	伊豆神田神社	伊豆神社	石坐神社																																																		
宇佐八幡神社	近江神宮	神田神社	志賀八幡神社																																																		
篠津神社	新宮神社	関蟬丸神社	膳所神社																																																		
建部大社	近津尾神社	野神社	平野神社																																																		
和田神社																																																					
石山寺	伊豆神田神社	伊豆神社	石坐神社																																																		
宇佐八幡神社	近江神宮	神田神社	志賀八幡神社																																																		
篠津神社	新宮神社	関蟬丸神社	膳所神社																																																		
建部大社	近津尾神社	野神社	平野神社																																																		
和田神社																																																					
序-7	序-7																																																				

■新旧対照表

新	旧
<p>(P2-1-11)</p> <hr/> <p style="text-align: center;">第2章 維持・向上すべき歴史的風致 1. 近江八景と琵琶湖を愛する活動に見る歴史的風致</p> <p>た。令和元年（2019）現在では、58団体、延べ23,000人の会員が活動を行っている。</p> <p>3-1. 大津港周辺の歴史的建造物とびわ湖開き 大津港周辺には湖上交通や琵琶湖観光を象徴する歴史的建造物が残っており、それらの歴史的建造物を前に、琵琶湖に春の訪れを告げるびわ湖開きが盛大に開催されている。</p> <p>3-1-1. 大津港周辺の歴史的建造物 びわ湖開きが開催される大津港周辺は、天智天皇の時代から琵琶湖の主要な港であった。明治以降の湖岸の埋立てによって、大津港とその周辺の景色は大きく変わったが、今でも大津港周辺には歴史的建造物が残っている。</p> <p>【旧琵琶湖ホテル（市指定有形文化財（建造物） 昭和時代）】 外国人観光客の誘致を目的に建設された国際観光ホテル。『工事竣功報告書』によると、昭和9年（1934）2月1日起工、同年11月16日に竣工という短期間で建築されたことがわかる¹⁸。 鉄筋コンクリート地下1階、地上3階建ての建物で銅板葺の大屋根は3階天井スラブの上に木造の小屋根をのせ、東西両翼に並列する入母屋造と、それをつなぐ腰折れ寄棟造となっている。 平成14年（2002）4月にリニューアルされ、現在は市の文化施設「びわ湖大津館」として利用されている。</p>  <p style="text-align: center;">写2-1-21 旧琵琶湖ホテル</p> <p>【石場の常夜燈（江戸時代）】 高さ8.4mの灯籠。江戸時代、大津市の石場と琵琶湖の対岸にある草津市の矢橋を結ぶ渡し舟の目印として建立されたもの。弘化2年（1845）に大津、京都、大阪などの船仲間によって建立されたことを示す刻銘がされている。 なお、当初は現大津警察署の場所にあり、2度の移築を経て現地に移った。</p>  <p style="text-align: center;">写2-1-22 石場の常夜燈</p> <p>3-1-2. びわ湖開き 3月の第1または第2土曜日、琵琶湖に春の訪れを告げるびわ湖開きが天津港一帯で行われ、令和元年（2019）で64回目を迎える¹⁹。 昭和31年（1956）に、冬のあいだ、点検、整備を受けていた観光</p>  <p style="text-align: center;">写2-1-23 びわ湖開き 開会式 (提供：びわ湖大津観光協会)</p> <hr/> <p>¹⁸ 『大津市指定有形文化財旧琵琶湖ホテル本館修理工事報告書』（大津市、2002）23頁。 ¹⁹ 令和2年（2020）は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止となった。</p> <p style="text-align: right;">2-1-11</p>	<p>(P2-1-11)</p> <hr/> <p style="text-align: center;">第2章 維持・向上すべき歴史的風致 1. 近江八景と琵琶湖を愛する活動に見る歴史的風致</p> <p>た。令和元年（2019）現在では、58団体、延べ23,000人の会員が活動を行っている。</p> <p>3-1. 大津港周辺の歴史的建造物とびわ湖開き 大津港周辺には湖上交通や琵琶湖観光を象徴する歴史的建造物が残っており、それらの歴史的建造物を前に、琵琶湖に春の訪れを告げるびわ湖開きが盛大に開催されている。</p> <p>3-1-1. 大津港周辺の歴史的建造物 びわ湖開きが開催される大津港周辺は、天智天皇の時代から琵琶湖の主要な港であった。明治以降の湖岸の埋立てによって、大津港とその周辺の景色は大きく変わったが、今でも大津港周辺には歴史的建造物が残っている。</p> <p>【旧琵琶湖ホテル（市指定有形文化財（建造物） 昭和時代）】 外国人観光客の誘致を目的に建設された国際観光ホテル。『工事竣功報告書』によると、昭和9年（1934）2月1日起工、同年11月16日に竣工という短期間で建築されたことがわかる¹⁸。 鉄筋コンクリート地下1階、地上3階建ての建物で銅板葺の大屋根は3階天井スラブの上に木造の小屋根をのせ、東西両翼に並列する入母屋造と、それをつなぐ腰折れ寄棟造となっている。 平成14年（2002）4月にリニューアルされ、現在は市の文化施設「びわ湖大津館」として利用されている。</p>  <p style="text-align: center;">写2-1-21 旧琵琶湖ホテル</p> <p>【石場の常夜燈（江戸時代）】 高さ8.4mの灯籠。江戸時代、大津市の石場と琵琶湖の対岸にある草津市の矢橋を結ぶ渡し舟の目印として建立されたもの。弘化2年（1845）に大津、京都、大阪などの船仲間によって建立されたことを示す刻銘がされている。 なお、当初は現大津警察署の場所にあり、2度の移築を経て現地に移った。</p>  <p style="text-align: center;">写2-1-22 石場の常夜燈</p> <p>3-1-2. びわ湖開き 3月の第1または第2土曜日、琵琶湖に春の訪れを告げるびわ湖開きが天津港一帯で行われ、令和元年（2019）で64回目を迎える¹⁹。 昭和31年（1956）に、冬のあいだ、点検、整備を受けていた観光</p>  <p style="text-align: center;">写2-1-23 びわ湖開き 開会式 (提供：びわ湖大津観光協会)</p> <hr/> <p>¹⁸ 『大津市指定有形文化財旧琵琶湖ホテル本館修理工事報告書』（大津市、2002）23頁。 ¹⁹ 令和2年（2020）は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止となった。</p> <p style="text-align: right;">2-1-11</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P2-2-6)</p> <p>第2章 維持・向上すべき歴史的風致 テーマ① 琵琶湖の恵みと自然との共生</p> <p>取水口は、石や土藁を積んでいるだけの簡易なものである。大水が来たときに自然に土藁が決壊するよう、工夫をしている。むしろ、強固な堤防にすると、引き込みをしている大道川³に大水が流れ、集落に被害が出てしまうからである。</p> <p>春の田植えが始まる前には、集落の人々が集まって、年1回、石積みで構築された水路の上流の枝や枯葉、砂利などを取り除いて流れをよくする清掃活動や水路の補修などを行う。水路は、清掃をしないと溢れたり、流れにくくなるからである。その際、崩れたところの修繕も行っている。</p> <p>水路の補修は人力で行われる。石積みは頑丈な構造なので、頻繁に修繕することはない。特に上流の石積みについては、設置当初からほとんど壊れていないと思われる。</p> <p>【石材業・造園業】 7代目小川治兵衛⁴が活躍していた明治時代中期、守山集落には3軒の石材業者があった。大きなもので10tもある守山石を山腹より人力と牛のみで四つ輪（木で作られた車）に乗せ湖岸まで運搬し船に荷積みされ、大津で別の船に積み替えられ琵琶湖疏水を通して、京都へと運ばれていった。昭和9年（1934）に撮影された写真には、石材を四つ輪で運搬の様子が写っており、少なくともこれより以前から営まれていたことがわかる。</p> <p>また、守山石は大津や京都だけでなく、琵琶湖の対岸にも船で運搬され、近江八幡、五個 荘、彦根などの近江商人の庭園に多く使われた。さらに、昭和初期に開通した江 若 鉄道により、守山石は、遠くは東京へも販売されることとなり、小川治兵衛の甥で弟子の岩城巨太郎も関東地方で多くの守山石を使用している。石材の豊富な山と水運としての琵琶湖の距離が近いことから石材業が発展したと考えられ、現在も2軒の石材・造園業があり、集落内の水路の補修などの維持管理も担っている。</p> <p>2-3. まとめ 比良山麓には湖岸沿いを中心に古くからの集落があり、加工に適した石と豊富な水といった自然の恵みを生かし、農業、石材業が営まれてきた。今でもそれらの集落には、石によって作られ</p> <p>³ 地元での水路の呼称。 ⁴ 小川源之助 1860年～1933年。「植治」の屋号で知られる。明治～大正期の名庭園を数多く手がけた近代を代表する庭師。著名な作庭に無鄰菴（山縣有朋邸）、平安神宮神苑、円山公園など。</p> <p>2-2-6</p>	<p>(P2-2-6)</p> <p>第2章 維持・向上すべき歴史的風致 テーマ① 琵琶湖の恵みと自然との共生</p> <p>取水口は、石や土藁を積んでいるだけの簡易なものである。大水が来たときに自然に土藁が決壊するよう、工夫をしている。むしろ、強固な堤防にすると、引き込みをしている大道川³に大水が流れ、集落に被害が出てしまうからである。</p> <p>春の田植えが始まる前には、集落の人々が集まって、年1回、石積みで構築された水路の上流の枝や枯葉、砂利などを取り除いて流れをよくする清掃活動や水路の補修などを行う。水路は、清掃をしないと溢れたり、流れにくくなるからである。その際、崩れたところの修繕も行っている。</p> <p>水路の補修は人力で行われる。石積みは頑丈な構造なので、頻繁に修繕することはない。特に上流の石積みについては、設置当初からほとんど壊れていないと思われる。</p> <p>【石材業・造園業】 7代目小川治兵衛⁴が活躍していた明治時代中期、守山集落には3軒の石材業者があった。大きなもので10tもある守山石を山腹より人力と牛のみで四つ輪（木で作られた車）に乗せ湖岸まで運搬し船に荷積みされ、大津で別の船に積み替えられ琵琶湖疏水を通して、京都へと運ばれていった。昭和9年（1934）に撮影された写真には、石材を四つ輪で運搬の様子が写っており、少なくともこれより以前から営まれていたことがわかる。</p> <p>また、守山石は大津や京都だけでなく、琵琶湖の対岸にも船で運搬され、近江八幡、五個 荘、彦根などの近江商人の庭園に多く使われた。さらに、昭和初期に開通した江 若 鉄道により、守山石は、遠くは東京へも販売されることとなり、小川治兵衛の甥で弟子の岩城巨太郎も関東地方で多くの守山石を使用している。石材の豊富な山と水運としての琵琶湖の距離が近いことから石材業が発展したと考えられ、現在も2軒の石材・造園業があり、集落内の水路の補修などの維持管理も担っている。</p> <p>2-3. まとめ 比良山麓には湖岸沿いを中心に古くからの集落があり、加工に適した石と豊富な水といった自然の恵みを生かし、農業、石材業が営まれてきた。今でもそれらの集落には、石によって作られ</p> <p>³ 地元での水路の呼称。 ⁴ 小川源之助 1860年～1933年。「植治」の屋号で知られる。明治～大正期の名庭園を数多く手がけた近代を代表する庭師。著名な作庭に無鄰菴（山縣有朋邸）、平安神宮神苑、円山公園など。</p> <p>2-2-6</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P2-3-5)</p> <p>第2章 維持・向上すべき歴史的風致 テーマ① 琵琶湖の恵みと自然との共生</p> <p>【魚清楼をはじめとする湖魚料理】</p> <p>琵琶湖の恵みの最大の産物が、琵琶湖で漁獲される様々な湖魚である。『近江輿地志略』（享保19年（1734）序）には、琵琶湖でとれる本市の名産として「堅田煎鯰」「鮎魚」「鮎」「鯉」「鱧」「勢多鯉」「宇治丸鮎」がみられる。エビ、イサザ、モロコ、コアユなどは佃煮として加工され、フナは「熟れ鮎」⁸の代表として圧倒的知名度をもつ鮎寿司となる。</p> <p>現在も、堅田では琵琶湖の新鮮な素材を提供する料理旅館や料亭、川魚の販売や佃煮、鮎寿司などの加工をする店が数多くある。</p> <p>このような湖魚を素材として料理を提供する店の1つが魚清楼である。浮御堂を間近に眺め、対岸の三上山（近江富士）を借景とする琵琶湖の雄大な風景を望みながら、鮎寿司、コイの造り、本モロコの炭火焼き、佃煮、鴨なべなどの伝統的な料理を堪能することができる。</p> <hr/> <h4>4. 堅田地域の神社と祭礼行事</h4> <p>堅田にある各神社では、春に例祭が行われ、それぞれの氏子域内で神輿が巡行する。</p> <p>また、堅田がかつて琵琶湖岸域随一の漁業の町であることを象徴する「供御人行列」や堅田地域で起こったとされる出来事を今に伝えている「野神祭」など、堅田地域の特徴的な行事も行われている。</p> <p>4-1. 堅田地域の神社</p> <p>堅田地域には、本堅田に伊豆神社と神田神社、今堅田に伊豆神田神社と野神神社といった複数の神社が所在している。</p> <p>4-1-1. 伊豆神社</p> <p>伊豆神社は、本堅田の北ノ切に所在する。堅田全体の総鎮守として信仰を集め、室町時代には「堅田大宮」と呼ばれていた。社伝によると、寛平4年（892）に諸国を行脚していた法性坊尊意僧正が、伊豆三島明神を勧請したことにはじまる。三島明神の祭神は大山祇命で、この神は伊弉諾尊と伊弉冉尊とのあいだに生まれた神である。</p> <p>その後、堅田が京都の賀茂御祖神社（下鴨神社）の御厨となったところから、天曆3年（947）に同社の分霊・玉依媛命を勧請して神田神社と称するようになり、伊豆神社と神田神社の両社殿が境内に存在する神社となった。しかし、永禄12年（1569）に兵火に遭い、その後の天正年間（1573～1592）に同地に伊豆神社のみが復興したといわれている。</p> <hr/> <p>⁸ 塩漬の魚と飯を合わせて自然発酵させたもの。</p> <p>2-3-5</p>	<p>(P2-3-5)</p> <p>第2章 維持・向上すべき歴史的風致 テーマ① 琵琶湖の恵みと自然との共生</p> <p>【魚清楼をはじめとする湖魚料理】</p> <p>琵琶湖の恵みの最大の産物が、琵琶湖で漁獲される様々な湖魚である。『近江輿地志略』（享保19年（1734）序）には、琵琶湖でとれる本市の名産として「堅田煎鯰」「鮎魚」「鮎」「鯉」「鱧」「勢多鯉」「宇治丸鮎」がみられる。エビ、イサザ、モロコ、コアユなどは佃煮として加工され、フナは「熟れ鮎」⁸の代表として圧倒的知名度をもつ鮎寿司となる。</p> <p>現在も、堅田では琵琶湖の新鮮な素材を提供する料理旅館や料亭、川魚の販売や佃煮、鮎寿司などの加工をする店が数多くある。</p> <p>このような湖魚を素材として料理を提供する店の1つが魚清楼である。浮御堂を間近に眺め、対岸の三上山（近江富士）を借景とする琵琶湖の雄大な風景を望みながら、鮎寿司、コイの造り、本モロコの炭火焼き、佃煮、鴨なべなどの伝統的な料理を堪能することができる。</p> <hr/> <h4>4. 堅田地域の神社と祭礼行事</h4> <p>堅田にある各神社では、春に例祭が行われ、それぞれの氏子域内で神輿が巡行する。</p> <p>また、堅田がかつて琵琶湖岸域随一の漁業の町であることを象徴する「供御人行列」や堅田地域で起こったとされる出来事を今に伝えている「野神祭」など、堅田地域の特徴的な行事も行われている。</p> <p>4-1. 堅田地域の神社</p> <p>堅田地域には、本堅田に伊豆神社と神田神社、今堅田に伊豆神田神社と野神神社といった複数の神社が所在している。</p> <p>4-1-1. 伊豆神社</p> <p>伊豆神社は、本堅田の北ノ切に所在する。堅田全体の総鎮守として信仰を集め、室町時代には「堅田大宮」と呼ばれていた。社伝によると、寛平4年（892）に諸国を行脚していた法性坊尊意僧正が、伊豆三島明神を勧請したことにはじまる。三島明神の祭神は大山祇命で、この神は伊弉諾尊と伊弉冉尊とのあいだに生まれた神である。</p> <p>その後、堅田が京都の賀茂御祖神社（下鴨神社）の御厨となったところから、天曆3年（947）に同社の分霊・玉依媛命を勧請して神田神社と称するようになり、伊豆神社と神田神社の両社殿が境内に存在する神社となった。しかし、永禄12年（1569）に兵火に遭い、その後の天正年間（1573～1592）に同地に伊豆神社のみが復興したといわれている。</p> <hr/> <p>⁸ 塩漬の魚と飯を合わせて自然発酵させたもの。</p> <p>2-3-5</p>

■新旧対照表

新

旧

(P2-8-15)

(P2-8-15)

第2章 維持・向上すべき歴史的風致
8. 三井寺を中心とする歴史的風致

第2章 維持・向上すべき歴史的風致
8. 三井寺を中心とする歴史的風致

3-3. 早尾神社と蛇の顔見世、例祭

3-3. 早尾神社と蛇の顔見世、例祭

3-3-1. 早尾神社

3-3-1. 早尾神社

皇子が丘公園の西、長等山の尾根近くに千石岩という大きな岩が露出している。その山腹に「そうおさん」とも呼ばれる早尾神社が東面して鎮座している。

皇子が丘公園の西、長等山の尾根近くに千石岩という大きな岩が露出している。その山腹に「そうおさん」とも呼ばれる早尾神社が東面して鎮座している。

国道161号西大津バイパスにかかる朱塗りの橋を渡り、参道をすすむと拝殿や社務所がある。さらにその一段上、廻廊を隔てて境内の中央に入母屋造の本殿があり、建速素戔嗚尊をまつ。また、相殿には猿田彦をまつ。その向かって左には一間社流造の児大友社があり、大友皇子の子、大友与多王をまつり、向かって右には蛭子神社と八幡神社が並ぶ。

国道161号西大津バイパスにかかる朱塗りの橋を渡り、参道をすすむと拝殿や社務所がある。さらにその一段上、廻廊を隔てて境内の中央に入母屋造の本殿があり、建速素戔嗚尊をまつ。また、相殿には猿田彦をまつ。その向かって左には一間社流造の児大友社があり、大友皇子の子、大友与多王をまつり、向かって右には蛭子神社と八幡神社が並ぶ。

社伝によれば、貞観年間(859~877)に、智証大師円珍が三井寺を再興したとき、坂本の日吉大社の早尾社を勧請し、その鎮守にしたのが始まりという。

社伝によれば、貞観年間(859~877)に、智証大師円珍が三井寺を再興したとき、坂本の日吉大社の早尾社を勧請し、その鎮守にしたのが始まりという。

また、『近江輿地志略』(享保19年(1734)序)によれば「日吉中七社の早尾と同神也、旧説に、早尾明神は是崇福寺の鎮守の神也、今の地に鎮座の事詳ならず。僧徒の曰く、本地不動明王也といへり。」とあり、境内の南側谷下にある「山上不動」とは、神仏習合の関係にあったことがわかる¹⁶。

また、『近江輿地志略』(享保19年(1734)序)によれば「日吉中七社の早尾と同神也、旧説に、早尾明神は是崇福寺の鎮守の神也、今の地に鎮座の事詳ならず。僧徒の曰く、本地不動明王也といへり。」とあり、境内の南側谷下にある「山上不動」とは、神仏習合の関係にあったことがわかる¹⁶。

なお、早尾神社の本殿や拝殿などの主要な建物は、老朽化のため、昭和57年(1982)に、ほぼ同じ場所に建て替えられたが、境内には宝暦3年(1753)銘の早尾大明神と記された灯籠や、明治45年(1912)銘の狛犬などが残されており、古くからこの地にあったことがわかる。

なお、早尾神社の本殿や拝殿などの主要な建物は、老朽化のため、昭和57年(1982)に、ほぼ同じ場所に建て替えられたが、境内には宝暦3年(1753)銘の早尾大明神と記された灯籠や、明治45年(1912)銘の狛犬などが残されており、古くからこの地にあったことがわかる。



写2-8-34 早尾神社



写2-8-35 山上不動



写2-8-36 早尾神社灯籠



写2-8-37 蛇の顔見世

第2章



写2-8-34 早尾神社



写2-8-35 山上不動



写2-8-36 早尾神社灯籠



写2-8-37 蛇の顔見世

第2章

3-3-2. 蛇の顔見世、例祭

3-3-2. 蛇の顔見世、例祭

【蛇の顔見世】

【蛇の顔見世】

蛇の顔見世は1月13日から15日までの3日間、早尾神社の氏子のうち尾花川地区で行われる。『大津史跡行脚』(昭和45年(1970)刊)では、蛇まつりとして紹介されている¹⁷。

蛇の顔見世は1月13日から15日までの3日間、早尾神社の氏子のうち尾花川地区で行われる。『大津史跡行脚』(昭和45年(1970)刊)では、蛇まつりとして紹介されている¹⁷。

13日は尾花川の南北2組にわかれ、それぞれが1体ずつ計2体の蛇を作る。南組が雌、北組が雄となる。蛇は1体につき40束ほどの藁を使い、長さ約4m、重さ50kgほどの蛇の頭と胴体を作る。目には木炭(かつてはムクの木を用いたという)がはめられ、左右の髭は水引で結ばれる。できあがった蛇ははしご状の輿にのせて完成する。

13日は尾花川の南北2組にわかれ、それぞれが1体ずつ計2体の蛇を作る。南組が雌、北組が雄となる。蛇は1体につき40束ほどの藁を使い、長さ約4m、重さ50kgほどの蛇の頭と胴体を作る。目には木炭(かつてはムクの木を用いたという)がはめられ、左右の髭は水引で結ばれる。できあがった蛇ははしご状の輿にのせて完成する。

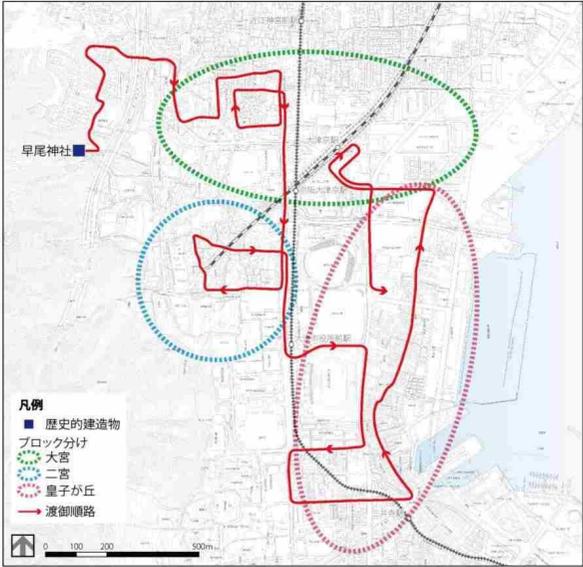
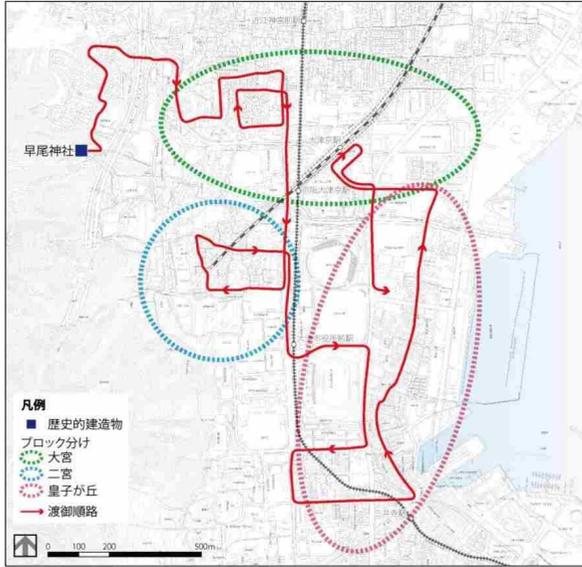
¹⁶ 『新註 近江輿地志略 全』164頁。

¹⁶ 『新註 近江輿地志略 全』164頁。

¹⁷ 徳永真一郎『大津史跡行脚』(白川書院、1970)、234頁。

¹⁷ 徳永真一郎『大津史跡行脚』(白川書院、1970)、234頁。

■新旧対照表

新	旧
<p>(P2-8-17)</p> <p style="text-align: right;">第2章 維持・向上すべき歴史的風致 8. 三井寺を中心とする歴史的風致</p>  <p>図2-8-9 早尾神社例祭 神輿渡御順路</p> <p>3-4. まとめ 三井寺の門前町である長等地区は、鎮守社として位置づけられていた長等神社・三尾神社・早尾神社の3社が所在し、地域の氏神として地元の人々によって、今も大切に祀られている。毎年5月にはそれぞれの神社で祭礼が行なわれているほか、正月には藁製の蛇が集落の人々によってつくられ、新しい年が訪れたことを人々に告げる。また、近江大津宮の時代に由緒を持つ朝瓜まつりなど、年間を通じて地域の特徴的な祭礼も連続と受け継がれてきた。 昔の趣を残す町家があちこちに残るまちなみのなかを、神輿などの行列が渡御し、藁製の蛇が通りに飾られたり行き交ったりする情景は、長く三井寺の門前町として営まれてきた地域の人々の信仰の姿を今に感じさせる歴史的風致を形成している。</p> <p style="text-align: right;">2-8-17</p>	<p>(P2-8-17)</p> <p style="text-align: right;">第2章 維持・向上すべき歴史的風致 8. 三井寺を中心とする歴史的風致</p>  <p>図2-8-9 早尾神社例祭 神輿渡御順路</p> <p>3-4. まとめ 三井寺の門前町である長等地区は、鎮守社として位置づけられていた長等神社・三尾神社・早尾神社の3社が所在し、地域の氏神として地元の人々によって、今も大切に祀られている。毎年5月にはそれぞれの神社で祭礼が行なわれているほか、正月には藁製の蛇が集落の人々によってつくられ、新しい年が訪れたことを人々に告げる。また、近江大津宮の時代に由緒を持つ朝瓜まつりなど、年間を通じて地域の特徴的な祭礼も連続と受け継がれてきた。 昔の趣を残す町家があちこちに残るまちなみのなかを、神輿などの行列が渡御し、藁製の蛇が通りに飾られたり行き交ったりする情景は、長く三井寺の門前町として営まれてきた地域の人々の信仰の姿を今に感じさせる歴史的風致を形成している。</p> <p style="text-align: right;">2-8-17</p>

■新旧対照表

新

旧

(P2-12-6)

(P2-12-6)

第2章 維持・向上すべき歴史的風致
テーマ③ 大津三大祭に代表される祭礼行事

第2章 維持・向上すべき歴史的風致
テーマ③ 大津三大祭に代表される祭礼行事

第2章

第2章

18時、花火の合図とともに、御座船2艘は、神職船、伶人船（雅楽船）・神楽巫女船など10数艘を従えて出発する。そして、隊列を整え、奏楽や建部音頭を流しながら、瀬田川洗堰手前のお旅所「供御の瀬」までの片道約4kmの船渡御を行う。

18時、花火の合図とともに、御座船2艘は、神職船、伶人船（雅楽船）・神楽巫女船など10数艘を従えて出発する。そして、隊列を整え、奏楽や建部音頭を流しながら、瀬田川洗堰手前のお旅所「供御の瀬」までの片道約4kmの船渡御を行う。

18時30分ごろ、一行はお旅所に到着する。ここで神輿に建部大社の別宮（毛知比神社）と新宮（新茂智神社）から神饌が献じられる。そして、祝詞奏上、神楽舞などの神事が行われる。この献供は、かつて建部大社を奉祭していた橋本の供御人が瀬田川の漁民を支配していた名残と考えられている。

18時30分ごろ、一行はお旅所に到着する。ここで神輿に建部大社の別宮（毛知比神社）と新宮（新茂智神社）から神饌が献じられる。そして、祝詞奏上、神楽舞などの神事が行われる。この献供は、かつて建部大社を奉祭していた橋本の供御人が瀬田川の漁民を支配していた名残と考えられている。

19時過ぎ、お旅所での神事が終了すると、神輿は還御となる。御座船の高張提灯や神輿につけた紅提灯に明かりが灯され、再び隊列を整えた10数艘の船団は、御座船を先頭に夕闇の瀬田川をさかのぼっていく。両川岸では、氏子たちが複数箇所で見守りをたいて御座船を奉迎している。そのなかを、神輿を乗せた御座船は提灯の明かりを川面にゆらめかせながら、建部音頭の声にもぎやかに、一路瀬田浜を目指す。船団が瀬田唐橋に近付くころには、夜空に花火が打ち上げられる。

19時過ぎ、お旅所での神事が終了すると、神輿は還御となる。御座船の高張提灯や神輿につけた紅提灯に明かりが灯され、再び隊列を整えた10数艘の船団は、御座船を先頭に夕闇の瀬田川をさかのぼっていく。両川岸では、氏子たちが複数箇所で見守りをたいて御座船を奉迎している。そのなかを、神輿を乗せた御座船は提灯の明かりを川面にゆらめかせながら、建部音頭の声にもぎやかに、一路瀬田浜を目指す。船団が瀬田唐橋に近付くころには、夜空に花火が打ち上げられる。

20時ごろに瀬田浜に到着。上陸した神輿は20時30分ごろに瀬田浜を出発し、神輿の動きに合わせて花火が打ち上げられるなか、瀬田唐橋を往復し、中の島のお旅所を経て21時過ぎ建部大社に還御する。

20時ごろに瀬田浜に到着。上陸した神輿は20時30分ごろに瀬田浜を出発し、神輿の動きに合わせて花火が打ち上げられるなか、瀬田唐橋を往復し、中の島のお旅所を経て21時過ぎ建部大社に還御する。



写2-12-10 曳航される御座船



写2-10 曳航される御座船



写2-12-11 出港する船団



写2-12-11 出港する船団



写2-12-12 お旅所での神事



写2-12-12 お旅所での神事



写2-12-13 篝火



写2-12-13 篝火



写2-12-14 篝火の中を巡航する船団

写2-12-14 篝火の中を巡航する船団

■新旧対照表

新	旧
<p>(P5-7)</p> <p style="text-align: center;">第5章 文化財の保存又は活用に関する事項</p> <hr/> <p>(5)文化財の防災に関する具体的な計画</p> <p>毎年1月26日の「文化財防火デー」に合わせて、大津市消防局、大津市教育委員会、文化財所有者、消防団や自主防災組織などの地元住民との合同での消防訓練や消防局長による特別査察を行っており、今後もこれらの取組を継続して行う。</p> <p>また、歴史的建造物の所有者に対しては、火災報知機や放水銃など防火設備の設置を促すほか、耐震診断や耐震補強工事など地震対策を促す。</p> <hr/> <p>(6)文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する具体的な計画</p> <p>重点区域内に存在する文化財については、普及・啓発に取り組むことで、文化財への誇り・親しみを感じてもらい、地域活力の向上に結びつくと考えられることから、まちづくりを進める上では極めて重要なものである。</p> <p>文化財の普及・啓発にあつては、その価値の保存を前提とした上で、地域住民による日常利用や学校教育での見学・学習利用などができる環境の整備に取り組むほか、小中学校生徒を対象とした副読本の作成や出前授業の実施、AR・VRなどの最新技術の積極的な活用やQRコードを用いた詳細情報の提供など、文化財の魅力を知り、体感できる環境づくりに取り組む。</p> <p>また、今後増加する外国人観光客向けのパンフレットの作成や案内板の設置など観光振興に寄与する取組も進める。</p> <div style="border: 1px solid #00a0e3; background-color: #e6f2ff; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><関連事業></p> <ol style="list-style-type: none"> 15. 地域固有の歴史・文化遺産の発信 16. 東海道統一案内看板の普及啓発 17. 地域の人材活躍の支援 18. 大津まちなか大学の開催 19. 大津人実践講座の開催 20. 埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催 21. 歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施 23. れきはく講座などの開催 </div> <p style="text-align: right;">第5章</p> <p style="text-align: right;">5-7</p>	<p>(P5-7)</p> <p style="text-align: center;">第5章 文化財の保存又は活用に関する事項</p> <hr/> <p>(5)文化財の防災に関する具体的な計画</p> <p>毎年1月26日の「文化財防火デー」に合わせて、大津市消防局、大津市教育委員会、文化財所有者、消防団や自主防災組織などの地元住民との合同での消防訓練や消防局長による特別査察を行っており、今後もこれらの取組を継続して行う。</p> <p>また、歴史的建造物の所有者に対しては、火災報知機や放水銃など防火設備の設置を促すほか、耐震診断や耐震補強工事など地震対策を促す。</p> <hr/> <p>(6)文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する具体的な計画</p> <p>重点区域内に存在する文化財については、普及・啓発に取り組むことで、文化財への誇り・親しみを感じてもらい、地域活力の向上に結びつくと考えられることから、まちづくりを進める上では極めて重要なものである。</p> <p>文化財の普及・啓発にあつては、その価値の保存を前提とした上で、地域住民による日常利用や学校教育での見学・学習利用などができる環境の整備に取り組むほか、小中学校生徒を対象とした副読本の作成や出前授業の実施、AR・VRなどの最新技術の積極的な活用やQRコードを用いた詳細情報の提供など、文化財の魅力を知り、体感できる環境づくりに取り組む。</p> <p>また、今後増加する外国人観光客向けのパンフレットの作成や案内板の設置など観光振興に寄与する取組も進める。</p> <div style="border: 1px solid #00a0e3; background-color: #e6f2ff; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><関連事業></p> <ol style="list-style-type: none"> 15. 地域固有の歴史・文化遺産の発信 16. 東海道統一案内看板の普及啓発 17. 地域の人材活躍の支援 18. 大津まちなか大学の開催 19. 大津人実践講座の開催 20. 埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催 21. 歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施 23. れきはく講座などの開催 </div> <p style="text-align: right;">第5章</p> <p style="text-align: right;">5-7</p>

■新旧対照表

新		旧																																																																			
(P6-2)	第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	(P6-2)	第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項																																																																		
<p>(2)歴史的建造物の周辺環境に関する事業</p> <p>表6-1-2 歴史的建造物の周辺環境に関する事業一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>所管課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>大津市景観計画の改定</td> <td>都市計画課</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>景観保全型広告整備地区の新規設定</td> <td>都市計画課</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>まちなみ修景整備への補助</td> <td>都市魅力づくり推進課</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>道路の美装化</td> <td>都市魅力づくり推進課</td> </tr> </tbody> </table>		No.	事業名	所管課	7	大津市景観計画の改定	都市計画課	8	景観保全型広告整備地区の新規設定	都市計画課	9	まちなみ修景整備への補助	都市魅力づくり推進課	10	道路の美装化	都市魅力づくり推進課	<p>(2)歴史的建造物の周辺環境に関する事業</p> <p>表6-1-2 歴史的建造物の周辺環境に関する事業一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>所管課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>大津市景観計画の改定</td> <td>都市計画課</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>景観保全型広告整備地区の新規設定</td> <td>都市計画課</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>まちなみ修景整備への補助</td> <td>都市計画課</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>道路の美装化</td> <td>都市計画課</td> </tr> </tbody> </table>		No.	事業名	所管課	7	大津市景観計画の改定	都市計画課	8	景観保全型広告整備地区の新規設定	都市計画課	9	まちなみ修景整備への補助	都市計画課	10	道路の美装化	都市計画課																																				
No.	事業名	所管課																																																																			
7	大津市景観計画の改定	都市計画課																																																																			
8	景観保全型広告整備地区の新規設定	都市計画課																																																																			
9	まちなみ修景整備への補助	都市魅力づくり推進課																																																																			
10	道路の美装化	都市魅力づくり推進課																																																																			
No.	事業名	所管課																																																																			
7	大津市景観計画の改定	都市計画課																																																																			
8	景観保全型広告整備地区の新規設定	都市計画課																																																																			
9	まちなみ修景整備への補助	都市計画課																																																																			
10	道路の美装化	都市計画課																																																																			
<p>(3)伝統的な祭礼行事、活動に関する事業</p> <p>表6-1-3 伝統的な祭礼行事、活動に関する事業一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>所管課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>文化観光振興などへの助成</td> <td>観光振興課</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>祭行事の開催費用の補助</td> <td>観光振興課</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>歴史的観光資源を活用した事業への補助</td> <td>観光振興課</td> </tr> </tbody> </table>		No.	事業名	所管課	11	文化観光振興などへの助成	観光振興課	12	祭行事の開催費用の補助	観光振興課	13	歴史的観光資源を活用した事業への補助	観光振興課	<p>(3)伝統的な祭礼行事、活動に関する事業</p> <p>表6-1-3 伝統的な祭礼行事、活動に関する事業一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>所管課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>文化観光振興などへの助成</td> <td>観光振興課</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>祭行事の開催費用の補助</td> <td>観光振興課</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>歴史的観光資源を活用した事業への補助</td> <td>観光振興課</td> </tr> </tbody> </table>		No.	事業名	所管課	11	文化観光振興などへの助成	観光振興課	12	祭行事の開催費用の補助	観光振興課	13	歴史的観光資源を活用した事業への補助	観光振興課																																										
No.	事業名	所管課																																																																			
11	文化観光振興などへの助成	観光振興課																																																																			
12	祭行事の開催費用の補助	観光振興課																																																																			
13	歴史的観光資源を活用した事業への補助	観光振興課																																																																			
No.	事業名	所管課																																																																			
11	文化観光振興などへの助成	観光振興課																																																																			
12	祭行事の開催費用の補助	観光振興課																																																																			
13	歴史的観光資源を活用した事業への補助	観光振興課																																																																			
<p>(4)歴史や伝統文化に対する市民意識に関する事業</p> <p>表6-1-4 歴史や伝統文化に対する市民意識に関する事業一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>所管課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>地域の歴史資料館の運営の補助</td> <td>観光振興課</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>地域固有の歴史・文化遺産の発信</td> <td>都市魅力づくり推進課</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>東海道統一案内看板の普及啓発</td> <td>都市計画課</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>地域の人材活躍の支援</td> <td>都市魅力づくり推進課</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>大津まちなか大学の開催</td> <td>都市魅力づくり推進課</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>大津人実践講座の開催</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催</td> <td>文化財保護課</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施</td> <td>歴史博物館</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>歴史博物館での資料の調査や収集</td> <td>歴史博物館</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>れきはく講座などの開催</td> <td>歴史博物館</td> </tr> </tbody> </table>		No.	事業名	所管課	14	地域の歴史資料館の運営の補助	観光振興課	15	地域固有の歴史・文化遺産の発信	都市魅力づくり推進課	16	東海道統一案内看板の普及啓発	都市計画課	17	地域の人材活躍の支援	都市魅力づくり推進課	18	大津まちなか大学の開催	都市魅力づくり推進課	19	大津人実践講座の開催	生涯学習課	20	埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催	文化財保護課	21	歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施	歴史博物館	22	歴史博物館での資料の調査や収集	歴史博物館	23	れきはく講座などの開催	歴史博物館	<p>(4)歴史や伝統文化に対する市民意識に関する事業</p> <p>表6-1-4 歴史や伝統文化に対する市民意識に関する事業一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>所管課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>地域の歴史資料館の運営の補助</td> <td>観光振興課</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>副読本「文化遺産マップ」などの作成</td> <td>都市計画課</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>東海道統一案内看板の普及啓発</td> <td>都市計画課</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>地域の人材活躍の支援</td> <td>都市計画課</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>大津まちなか大学の開催</td> <td>都市魅力づくり推進課</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>大津人実践講座の開催</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催</td> <td>文化財保護課</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施</td> <td>歴史博物館</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>歴史博物館での資料の調査や収集</td> <td>歴史博物館</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>れきはく講座などの開催</td> <td>歴史博物館</td> </tr> </tbody> </table>		No.	事業名	所管課	14	地域の歴史資料館の運営の補助	観光振興課	15	副読本「文化遺産マップ」などの作成	都市計画課	16	東海道統一案内看板の普及啓発	都市計画課	17	地域の人材活躍の支援	都市計画課	18	大津まちなか大学の開催	都市魅力づくり推進課	19	大津人実践講座の開催	生涯学習課	20	埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催	文化財保護課	21	歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施	歴史博物館	22	歴史博物館での資料の調査や収集	歴史博物館	23	れきはく講座などの開催	歴史博物館
No.	事業名	所管課																																																																			
14	地域の歴史資料館の運営の補助	観光振興課																																																																			
15	地域固有の歴史・文化遺産の発信	都市魅力づくり推進課																																																																			
16	東海道統一案内看板の普及啓発	都市計画課																																																																			
17	地域の人材活躍の支援	都市魅力づくり推進課																																																																			
18	大津まちなか大学の開催	都市魅力づくり推進課																																																																			
19	大津人実践講座の開催	生涯学習課																																																																			
20	埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催	文化財保護課																																																																			
21	歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施	歴史博物館																																																																			
22	歴史博物館での資料の調査や収集	歴史博物館																																																																			
23	れきはく講座などの開催	歴史博物館																																																																			
No.	事業名	所管課																																																																			
14	地域の歴史資料館の運営の補助	観光振興課																																																																			
15	副読本「文化遺産マップ」などの作成	都市計画課																																																																			
16	東海道統一案内看板の普及啓発	都市計画課																																																																			
17	地域の人材活躍の支援	都市計画課																																																																			
18	大津まちなか大学の開催	都市魅力づくり推進課																																																																			
19	大津人実践講座の開催	生涯学習課																																																																			
20	埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催	文化財保護課																																																																			
21	歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施	歴史博物館																																																																			
22	歴史博物館での資料の調査や収集	歴史博物館																																																																			
23	れきはく講座などの開催	歴史博物館																																																																			
<p>(5)歴史を活かした地域活性化や観光振興に関する事業</p> <p>表6-1-5 歴史を活かした地域活性化や観光振興に関する事業一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>所管課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>観光施設の維持管理</td> <td>観光振興課</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>公共空間の活用</td> <td>都市魅力づくり推進課</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>道路の拡幅整備（都市計画道路比叡辻日吉線）</td> <td>道路建設課</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>道路の拡幅整備（都市計画道路本堅田衣川線）</td> <td>道路建設課</td> </tr> </tbody> </table>		No.	事業名	所管課	24	観光施設の維持管理	観光振興課	25	公共空間の活用	都市魅力づくり推進課	26	道路の拡幅整備（都市計画道路比叡辻日吉線）	道路建設課	27	道路の拡幅整備（都市計画道路本堅田衣川線）	道路建設課	<p>(5)歴史を活かした地域活性化や観光振興に関する事業</p> <p>表6-1-5 歴史を活かした地域活性化や観光振興に関する事業一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>所管課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>観光施設の維持管理</td> <td>観光振興課</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>公共空間の活用</td> <td>都市魅力づくり推進課</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>道路の拡幅整備（都市計画道路比叡辻日吉線）</td> <td>道路建設課</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>道路の拡幅整備（都市計画道路本堅田衣川線）</td> <td>道路建設課</td> </tr> </tbody> </table>		No.	事業名	所管課	24	観光施設の維持管理	観光振興課	25	公共空間の活用	都市魅力づくり推進課	26	道路の拡幅整備（都市計画道路比叡辻日吉線）	道路建設課	27	道路の拡幅整備（都市計画道路本堅田衣川線）	道路建設課																																				
No.	事業名	所管課																																																																			
24	観光施設の維持管理	観光振興課																																																																			
25	公共空間の活用	都市魅力づくり推進課																																																																			
26	道路の拡幅整備（都市計画道路比叡辻日吉線）	道路建設課																																																																			
27	道路の拡幅整備（都市計画道路本堅田衣川線）	道路建設課																																																																			
No.	事業名	所管課																																																																			
24	観光施設の維持管理	観光振興課																																																																			
25	公共空間の活用	都市魅力づくり推進課																																																																			
26	道路の拡幅整備（都市計画道路比叡辻日吉線）	道路建設課																																																																			
27	道路の拡幅整備（都市計画道路本堅田衣川線）	道路建設課																																																																			

第6章

第6章

■新旧対照表

新	旧																																																								
<p>(P6-12)</p> <p style="font-size: small;">第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項</p> <hr/> <p style="text-align: center;">(4)歴史や伝統文化に対する市民意識に関する事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">事業名</td> <td>14. 地域の歴史資料館の運営の補助</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業主体</td> <td>大津市</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業手法 (支援事業名)</td> <td>市単独費</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業期間</td> <td>令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業位置</td> <td>堅田重点区域、大津百町重点区域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業概要</td> <td> <p>堅田の歴史についての展示を行っている湖族の郷資料館を運営する実行委員会への補助を行う。また、大津祭に関する展示などを行っている曳山展示館を情報発信の拠点として指定管理者による管理運営を行う。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">写6-2-11 曳山展示館</p> </div> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</td> <td> <p>堅田の歴史や大津祭の概要を知ってもらう機会を創出することで、市民意識が向上し、琵琶湖とともに生きる町堅田の歴史的風致及び大津祭に見る歴史的風致の維持向上に寄与する。</p> </td> </tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #000; color: #fff; padding: 2px 5px; font-weight: bold; margin-right: 5px;">第6章</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">事業名</td> <td>15. 地域固有の歴史・文化遺産の発信</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業主体</td> <td>大津市</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業手法 (支援事業名)</td> <td>市単独費</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業期間</td> <td>令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業位置</td> <td>市域全域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業概要</td> <td> <p>地域で歴史に関する研究、発表を行っている団体が作成した地域の歴史に関する副読本や文化遺産マップなどを製本、印刷する。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">写6-2-12 まち遺産マップの例 (発行・編集：びわ湖大津まちづくり会議)</p> </div> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</td> <td> <p>副読本や文化遺産マップを作成することにより、地域の歴史や文化遺産を知ってもらう機会を創出することで、市民意識が向上し、市域全域の歴史的風致の維持向上に寄与する。</p> </td> </tr> </table> </div>	事業名	14. 地域の歴史資料館の運営の補助	事業主体	大津市	事業手法 (支援事業名)	市単独費	事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)	事業位置	堅田重点区域、大津百町重点区域	事業概要	<p>堅田の歴史についての展示を行っている湖族の郷資料館を運営する実行委員会への補助を行う。また、大津祭に関する展示などを行っている曳山展示館を情報発信の拠点として指定管理者による管理運営を行う。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">写6-2-11 曳山展示館</p> </div>	事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>堅田の歴史や大津祭の概要を知ってもらう機会を創出することで、市民意識が向上し、琵琶湖とともに生きる町堅田の歴史的風致及び大津祭に見る歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>	事業名	15. 地域固有の歴史・文化遺産の発信	事業主体	大津市	事業手法 (支援事業名)	市単独費	事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)	事業位置	市域全域	事業概要	<p>地域で歴史に関する研究、発表を行っている団体が作成した地域の歴史に関する副読本や文化遺産マップなどを製本、印刷する。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">写6-2-12 まち遺産マップの例 (発行・編集：びわ湖大津まちづくり会議)</p> </div>	事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>副読本や文化遺産マップを作成することにより、地域の歴史や文化遺産を知ってもらう機会を創出することで、市民意識が向上し、市域全域の歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>	<p>(P6-12)</p> <p style="font-size: small;">第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項</p> <hr/> <p style="text-align: center;">(4)歴史や伝統文化に対する市民意識に関する事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">事業名</td> <td>14. 地域の歴史資料館の運営の補助</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業主体</td> <td>大津市</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業手法 (支援事業名)</td> <td>市単独費</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業期間</td> <td>令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業位置</td> <td>堅田重点区域、大津百町重点区域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業概要</td> <td> <p>堅田の歴史についての展示を行っている湖族の郷資料館を運営する実行委員会への補助を行う。また、大津祭に関する展示などを行っている曳山展示館を情報発信の拠点として指定管理者による管理運営を行う。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">写6-2-11 曳山展示館</p> </div> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</td> <td> <p>堅田の歴史や大津祭の概要を知ってもらう機会を創出することで、市民意識が向上し、琵琶湖とともに生きる町堅田の歴史的風致及び大津祭に見る歴史的風致の維持向上に寄与する。</p> </td> </tr> </table> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; background-color: #000; color: #fff; padding: 2px 5px; font-weight: bold; margin-right: 5px;">第6章</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">事業名</td> <td>15. 副読本・文化遺産マップなどの作成</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業主体</td> <td>大津市</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業手法 (支援事業名)</td> <td>市単独費</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業期間</td> <td>令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業位置</td> <td>市域全域</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業概要</td> <td> <p>地域で歴史に関する研究、発表を行っている団体が作成した地域の歴史に関する副読本や文化遺産マップなどを製本、印刷する。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">写6-2-12 まち遺産マップの例 (発行・編集：びわ湖大津まちづくり会議)</p> </div> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由</td> <td> <p>副読本や文化遺産マップを作成することにより、地域の歴史や文化遺産を知ってもらう機会を創出することで、市民意識が向上し、市域全域の歴史的風致の維持向上に寄与する。</p> </td> </tr> </table> </div>	事業名	14. 地域の歴史資料館の運営の補助	事業主体	大津市	事業手法 (支援事業名)	市単独費	事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)	事業位置	堅田重点区域、大津百町重点区域	事業概要	<p>堅田の歴史についての展示を行っている湖族の郷資料館を運営する実行委員会への補助を行う。また、大津祭に関する展示などを行っている曳山展示館を情報発信の拠点として指定管理者による管理運営を行う。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">写6-2-11 曳山展示館</p> </div>	事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>堅田の歴史や大津祭の概要を知ってもらう機会を創出することで、市民意識が向上し、琵琶湖とともに生きる町堅田の歴史的風致及び大津祭に見る歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>	事業名	15. 副読本・文化遺産マップなどの作成	事業主体	大津市	事業手法 (支援事業名)	市単独費	事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)	事業位置	市域全域	事業概要	<p>地域で歴史に関する研究、発表を行っている団体が作成した地域の歴史に関する副読本や文化遺産マップなどを製本、印刷する。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">写6-2-12 まち遺産マップの例 (発行・編集：びわ湖大津まちづくり会議)</p> </div>	事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>副読本や文化遺産マップを作成することにより、地域の歴史や文化遺産を知ってもらう機会を創出することで、市民意識が向上し、市域全域の歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>
事業名	14. 地域の歴史資料館の運営の補助																																																								
事業主体	大津市																																																								
事業手法 (支援事業名)	市単独費																																																								
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)																																																								
事業位置	堅田重点区域、大津百町重点区域																																																								
事業概要	<p>堅田の歴史についての展示を行っている湖族の郷資料館を運営する実行委員会への補助を行う。また、大津祭に関する展示などを行っている曳山展示館を情報発信の拠点として指定管理者による管理運営を行う。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">写6-2-11 曳山展示館</p> </div>																																																								
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>堅田の歴史や大津祭の概要を知ってもらう機会を創出することで、市民意識が向上し、琵琶湖とともに生きる町堅田の歴史的風致及び大津祭に見る歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>																																																								
事業名	15. 地域固有の歴史・文化遺産の発信																																																								
事業主体	大津市																																																								
事業手法 (支援事業名)	市単独費																																																								
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)																																																								
事業位置	市域全域																																																								
事業概要	<p>地域で歴史に関する研究、発表を行っている団体が作成した地域の歴史に関する副読本や文化遺産マップなどを製本、印刷する。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">写6-2-12 まち遺産マップの例 (発行・編集：びわ湖大津まちづくり会議)</p> </div>																																																								
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>副読本や文化遺産マップを作成することにより、地域の歴史や文化遺産を知ってもらう機会を創出することで、市民意識が向上し、市域全域の歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>																																																								
事業名	14. 地域の歴史資料館の運営の補助																																																								
事業主体	大津市																																																								
事業手法 (支援事業名)	市単独費																																																								
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)																																																								
事業位置	堅田重点区域、大津百町重点区域																																																								
事業概要	<p>堅田の歴史についての展示を行っている湖族の郷資料館を運営する実行委員会への補助を行う。また、大津祭に関する展示などを行っている曳山展示館を情報発信の拠点として指定管理者による管理運営を行う。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">写6-2-11 曳山展示館</p> </div>																																																								
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>堅田の歴史や大津祭の概要を知ってもらう機会を創出することで、市民意識が向上し、琵琶湖とともに生きる町堅田の歴史的風致及び大津祭に見る歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>																																																								
事業名	15. 副読本・文化遺産マップなどの作成																																																								
事業主体	大津市																																																								
事業手法 (支援事業名)	市単独費																																																								
事業期間	令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)																																																								
事業位置	市域全域																																																								
事業概要	<p>地域で歴史に関する研究、発表を行っている団体が作成した地域の歴史に関する副読本や文化遺産マップなどを製本、印刷する。</p> <div style="text-align: right;">  <p style="font-size: x-small;">写6-2-12 まち遺産マップの例 (発行・編集：びわ湖大津まちづくり会議)</p> </div>																																																								
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>副読本や文化遺産マップを作成することにより、地域の歴史や文化遺産を知ってもらう機会を創出することで、市民意識が向上し、市域全域の歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>																																																								

■新旧対照表

新						旧					
(P7-3)						(P7-3)					
第7章 歴史的風致形成建造物の指定の方針						第7章 歴史的風致形成建造物の指定の方針					
No.	名称	写真	築年	所在地	関連する歴史的風致	No.	名称	写真	築年	所在地	関連する歴史的風致
4	うおせいらう 魚清楼		昭和34年 (1957) 以前	ほんかた 本堅田 一丁目	琵琶湖とともに 生きる町堅田に 見る歴史的風致	4	うおせいらう 魚清楼		昭和34年 (1957) 以前	ほんかた 本堅田 一丁目	琵琶湖とともに 生きる町堅田に 見る歴史的風致
5	旧岡本家住宅主屋(増築 部分を除く)、米蔵、馬 廄、石垣及び土庫、敷地 (庭園、石造物、礎石を 含む)		げんじ 元治元年 (1864)	坂本 六丁目	さんおうさい 山王祭に見る歴 史的風致	5	旧岡本家住宅主 屋(増築)		げんじ 元治元年 (1864)	坂本 六丁目	さんおうさい 山王祭に見る歴 史的風致
6	阪本屋店舗兼主 屋		昭和11年 (1936)	ながら 長等 一丁目	みいでら 三井寺を中心と する歴史的風致	6	阪本屋店舗兼主 屋		昭和11年 (1936)	ながら 長等 一丁目	みいでら 三井寺を中心と する歴史的風致
7	奥村家住宅主屋		昭和10年 (1935) 頃	長等 二丁目	三井寺を中心と する歴史的風致	7	奥村家住宅主屋		昭和10年 (1935) 頃	長等 二丁目	三井寺を中心と する歴史的風致
8	木村家住宅主屋		明治時代 (推定)	長等 二丁目	三井寺を中心と する歴史的風致	8	木村家住宅主屋		明治時代 (推定)	長等 二丁目	三井寺を中心と する歴史的風致
9	いなせ 粹世主屋		昭和8年 (1933)	長等 三丁目	三井寺を中心と する歴史的風致	9	いなせ 粹世主屋		昭和8年 (1933)	長等 三丁目	三井寺を中心と する歴史的風致
10	まめしん 豆信料亭棟		大正7年 (1918)	長等 三丁目	三井寺を中心と する歴史的風致	10	まめしん 豆信料亭棟		大正7年 (1918)	長等 三丁目	三井寺を中心と する歴史的風致

■新旧対照表

新

(P参-1)

参考資料

資料1 指定等文化財一覧

①国宝

表 資料1-1 国宝

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日
建造物	延暦寺根本中堂	江戸	延暦寺	坂本町	M32.4.5
	日吉大社西本宮本殿及び拝殿	桃山	日吉大社	坂本五丁目	M34.8.2
	日吉大社東本宮本殿及び拝殿	桃山	日吉大社	坂本五丁目	M34.8.2
	園城寺新羅善神堂	室町	園城寺	園城寺町	M34.3.27
	園城寺金堂	桃山	園城寺	園城寺町	M39.4.14
	勸学院客殿	桃山	園城寺	園城寺町	M34.3.27
	光浄院客殿	桃山	園城寺	園城寺町	M34.3.27
	石山寺本堂	平安・桃山	石山寺	石山寺一丁目	M31.12.28
	石山寺多宝塔	鎌倉	石山寺	石山寺一丁目	M32.4.5
	絹本着色六道絵	鎌倉	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	M30.12.28
	絹本着色不動明王像(黄不動尊)	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7
紙本墨画五部心観(完本)・(巻初を欠く)	唐・平安	園城寺	園城寺町	S13.7.4	
彫刻	木造智証大師坐像(御廟安置)	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7
	木造智証大師坐像(御骨大師)	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7
	木造新羅明神坐像(新羅善神堂安置)	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7
工芸品	宝相華母繪経箱	平安	延暦寺	坂本町	M33.4.7
	金銅経箱	平安	延暦寺	坂本町	T15.4.19
書誌・典籍・古文書	七条刺納袈裟、刺納衣	隋	延暦寺	坂本町	S39.5.26
	伝教大師得來目錄	平安	延暦寺	坂本町	M30.12.28
	瑞曆金剛目錄	平安	延暦寺	坂本町	M30.12.28
	天台法華宗年分縁起	平安	延暦寺	坂本町	M33.4.7
	六祖惠能伝	唐	延暦寺	坂本町	M33.4.7
	伝教大師入唐傳	唐	延暦寺	坂本町	M33.4.7
	嵯峨天皇宸翰光定戒牒	平安	延暦寺	坂本町	S28.11.14
	智証大師関係文書典籍	平安・唐	園城寺	園城寺町	M33.4.7
	延暦文様式	平安	石山寺	石山寺一丁目	M30.12.28
	越中国百倉納殿交替記残巻	平安	石山寺	石山寺一丁目	M30.12.28
	玉篇巻第廿七 後半	唐	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	周防国玖珂郡玖珂郷延喜八年戸籍残巻	平安	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	漢書	奈良	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	史記巻第九十六、九十七残巻	奈良	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	春秋経伝集解巻第廿六残巻	平安	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	春秋経伝集解巻第廿九残巻	平安	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	釈摩訶衍論	唐	石山寺	石山寺一丁目	S28.11.14
	淳祐内供奉聖教(薫聖教)	平安	石山寺	石山寺一丁目	S34.6.27
	考古資料	崇福寺塔心礎納置品	奈良	近江神宮	神宮町

参考



旧

(P参-1)

参考資料

資料1 指定等文化財一覧

①国宝

表 資料1-1 国宝

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日
建造物	延暦寺根本中堂	江戸	延暦寺	坂本町	M32.4.5
	日吉大社西本宮本殿及び拝殿	桃山	日吉大社	坂本五丁目	M34.8.2
	日吉大社東本宮本殿及び拝殿	桃山	日吉大社	坂本五丁目	M34.8.2
	園城寺新羅善神堂	室町	園城寺	園城寺町	M34.3.27
	園城寺金堂	桃山	園城寺	園城寺町	M39.4.14
	勸学院客殿	桃山	園城寺	園城寺町	M34.3.27
	光浄院客殿	桃山	園城寺	園城寺町	M34.3.27
	石山寺本堂	平安・桃山	石山寺	石山寺一丁目	M31.12.28
	石山寺多宝塔	鎌倉	石山寺	石山寺一丁目	M32.4.5
	絹本着色六道絵	鎌倉	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	M30.12.28
	絹本着色不動明王像(黄不動尊)	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7
紙本墨画五部心観(完本)・(巻初を欠く)	唐・平安	園城寺	園城寺町	S13.7.4	
彫刻	木造智証大師坐像(御廟安置)	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7
	木造智証大師坐像(御骨大師)	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7
	木造新羅明神坐像(新羅善神堂安置)	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7
工芸品	宝相華母繪経箱	平安	延暦寺	坂本町	M33.4.7
	金銅経箱	平安	延暦寺	坂本町	T15.4.19
書誌・典籍・古文書	七条刺納袈裟、刺納衣	隋	延暦寺	坂本町	S39.5.26
	伝教大師得來目錄	平安	延暦寺	坂本町	M30.12.28
	瑞曆金剛目錄	平安	延暦寺	坂本町	M30.12.28
	天台法華宗年分縁起	平安	延暦寺	坂本町	M33.4.7
	六祖惠能伝	唐	延暦寺	坂本町	M33.4.7
	伝教大師入唐傳	唐	延暦寺	坂本町	M33.4.7
	嵯峨天皇宸翰光定戒牒	平安	延暦寺	坂本町	S28.11.14
	智証大師関係文書典籍	平安・唐	園城寺	園城寺町	M33.4.7
	延暦文様式	平安	石山寺	石山寺一丁目	M30.12.28
	越中国百倉納殿交替記残巻	平安	石山寺	石山寺一丁目	M30.12.28
	玉篇巻第廿七 後半	唐	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	周防国玖珂郡玖珂郷延喜八年戸籍残巻	平安	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	漢書	奈良	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	史記巻第九十六、九十七残巻	奈良	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	春秋経伝集解巻第廿六残巻	平安	石山寺	石山寺一丁目	S28.11.14
	春秋経伝集解巻第廿九残巻	平安	石山寺	石山寺一丁目	S28.11.14
	釈摩訶衍論	唐	石山寺	石山寺一丁目	S28.11.14
	淳祐内供奉聖教(薫聖教)	平安	石山寺	石山寺一丁目	S34.6.27
	考古資料	崇福寺塔心礎納置品	奈良	近江神宮	神宮町

参考



■新旧対照表

新

旧

(P参-3)

(P参-3)

参考資料

参考資料

表 資料1-2 国指定等文化財（続き）

表 資料1-2 国指定等文化財（続き）

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日	
重要文化財	建造物	西教寺本堂	江戸	西教寺	坂本五丁目	S61.5.24
	聖衆来迎寺客殿、開山堂、本堂、表門	江戸	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	H26.9.18	
	圓満院霊殿	桃山	大岡寺	園城寺町	M35.7.31	
	園城寺大門（仁王門）	室町	園城寺	園城寺町	M33.4.7	
	園城寺圓伽井屋	桃山	園城寺	園城寺町	M39.4.14	
	園城寺一切経蔵（経堂）	室町	園城寺	園城寺町	M39.4.14	
	園城寺塔婆（三重塔）	室町	園城寺	園城寺町	M39.4.14	
	園城寺食堂（釈迦堂）	室町	園城寺	園城寺町	M45.2.8	
	園城寺毘沙門堂	江戸	園城寺	園城寺町	S27.3.29	
	園城寺唐院大師堂、唐門・灌頂堂、四脚門	桃山、江戸	園城寺	園城寺町	S42.6.15	
	園城寺鐘樓	桃山	園城寺	園城寺町	S42.6.15	
	三尾神社本殿	室町	三尾神社	園城寺町	H26.12.10	
	長安寺宝塔	鎌倉	長安寺	逢坂二丁目	S35.2.9	
	大津別院本堂	江戸	大津別院	中央二丁目	S36.6.7	
	大津別院書院	江戸	大津別院	中央二丁目	S36.6.7	
	和田神社本殿	鎌倉	和田神社	木下町	M35.7.31	
	膳所神社表門	江戸	膳所神社	膳所一丁目	T13.4.15	
	鎌津神社表門	桃山	鎌津神社	中庄一丁目	T13.4.15	
	蘆花浅水社本屋、離れ、持仏堂、渡り廊下、表門、土蔵	大正	記念寺	中庄一丁目	H6.12.27	
	旧伊庭家住宅（住友活機園）洋館、和館、新産敷、東蔵、西蔵、正門	明治	住友林業株式会社	田辺町	H14.5.23	
	石山寺東大門	桃山	石山寺	石山寺一丁目	M40.8.28	
	石山寺鐘樓	鎌倉	石山寺	石山寺一丁目	M40.8.28	
	石山寺宝篋印塔	室町	石山寺	石山寺一丁目	S36.3.23	
	石山寺御影堂、蓮如堂、三十八所権現社本殿、経蔵	室町・桃山	石山寺	石山寺一丁目	H20.12.2	
	春日神社本殿	鎌倉	春日神社	大石富川一丁目	M35.4.17	
	不動寺本堂	室町	不動寺	田上森町	T13.4.15	
	紙本着色近江名所図	室町	滋賀県	京町四丁目	S62.6.6	
	紙本着色光明真言功德絵詞	室町	明王院	葛川坊村町	T9.4.15	
	絹本着色不動明王二童子像	鎌倉	明王院	葛川坊村町	H10.6.30	
	絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図	鎌倉	新知恩院	伊香立下在地町	M30.12.28	
	絹本着色六道絵	南宋	新知恩院	伊香立下在地町	S39.5.26	
	絹本着色天台大師像有贊	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7	
	絹本着色天台大師像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7	
	絹本着色文殊菩薩像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M41.4.23	
	紙本着色山王霊験記	室町	延暦寺	坂本本町	S13.7.4	
	絹本着色相応和尚像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	S39.5.26	
	絹本着色不動明王三童子五部使者像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	S46.6.22	
	絹本着色山王本地仏像	南北朝	延暦寺	坂本本町	M33.4.7	
	絹本着色不動二童子像	鎌倉	恵光院	坂本五丁目	M41.4.23	
	絹本着色毘沙門天像	鎌倉	実藏坊	坂本五丁目	M33.4.7	
絹本着色不動明王二童子像	鎌倉	大林院	坂本五丁目	M33.4.7		
絹本着色地藏菩薩像	鎌倉	明德院	坂本四丁目	M33.4.7		
絹本着色弥陀三尊二十五菩薩来迎図	鎌倉	安楽律院	坂本本町	M33.4.7		
絹本着色千手観音像	鎌倉	安楽律院	坂本本町	M33.4.7		
絹本着色当麻曇荼羅図	鎌倉	西教寺	坂本五丁目	M30.12.28		

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日	
重要文化財	建造物	西教寺本堂	江戸	西教寺	坂本五丁目	S61.5.24
	聖衆来迎寺客殿、開山堂、本堂、表門	江戸	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	H26.9.18	
	圓満院霊殿	桃山	大岡寺	園城寺町	M35.7.31	
	園城寺大門（仁王門）	室町	園城寺	園城寺町	M33.4.7	
	園城寺圓伽井屋	桃山	園城寺	園城寺町	M39.4.14	
	園城寺一切経蔵（経堂）	室町	園城寺	園城寺町	M39.4.14	
	園城寺塔婆（三重塔）	室町	園城寺	園城寺町	M39.4.14	
	園城寺食堂（釈迦堂）	室町	園城寺	園城寺町	M45.2.8	
	園城寺毘沙門堂	江戸	園城寺	園城寺町	S27.3.29	
	園城寺唐院大師堂、唐門・灌頂堂、四脚門	桃山、江戸	園城寺	園城寺町	S42.6.15	
	園城寺鐘樓	桃山	園城寺	園城寺町	S42.6.15	
	三尾神社本殿	室町	三尾神社	園城寺町	H26.12.10	
	長安寺宝塔	鎌倉	長安寺	逢坂二丁目	S35.2.9	
	大津別院本堂	江戸	大津別院	中央二丁目	S36.6.7	
	大津別院書院	江戸	大津別院	中央二丁目	S36.6.7	
	和田神社本殿	鎌倉	和田神社	木下町	M35.7.31	
	膳所神社表門	江戸	膳所神社	膳所一丁目	T13.4.15	
	鎌津神社表門	桃山	鎌津神社	中庄一丁目	T13.4.15	
	蘆花浅水社本屋、離れ、持仏堂、渡り廊下、表門、土蔵	大正	記念寺	中庄一丁目	H6.12.27	
	旧伊庭家住宅（住友活機園）洋館、和館、新産敷、東蔵、西蔵、正門	明治	住友林業株式会社	田辺町	H14.5.23	
	石山寺東大門	桃山	石山寺	石山寺一丁目	M40.8.28	
	石山寺鐘樓	鎌倉	石山寺	石山寺一丁目	M40.8.28	
	石山寺宝篋印塔	室町	石山寺	石山寺一丁目	S36.3.23	
	石山寺御影堂、蓮如堂、三十八所権現社本殿、経蔵	室町・桃山	石山寺	石山寺一丁目	H20.12.2	
	春日神社本殿	鎌倉	春日神社	大石富川一丁目	M35.4.17	
	不動寺本堂	室町	不動寺	田上森町	T13.4.15	
	紙本着色近江名所図	室町	滋賀県	京町四丁目	S62.6.6	
	紙本着色光明真言功德絵詞	室町	明王院	葛川坊村町	T9.4.15	
	絹本着色不動明王二童子像	鎌倉	明王院	葛川坊村町	H10.6.30	
	絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図	鎌倉	新知恩院	伊香立下在地町	M30.12.28	
	絹本着色六道絵	南宋	新知恩院	伊香立下在地町	S39.5.26	
	絹本着色天台大師像有贊	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7	
	絹本着色天台大師像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7	
	絹本着色文殊菩薩像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M41.4.23	
	紙本着色山王霊験記	室町	延暦寺	坂本本町	S13.7.4	
	絹本着色相応和尚像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	S39.5.26	
	絹本着色不動明王三童子五部使者像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	S46.6.22	
	絹本着色山王本地仏像	南北朝	延暦寺	坂本本町	M33.4.7	
	絹本着色不動二童子像	鎌倉	恵光院	坂本五丁目	M41.4.23	
	絹本着色毘沙門天像	鎌倉	実藏坊	坂本五丁目	M33.4.7	
絹本着色不動明王二童子像	鎌倉	大林院	坂本五丁目	M33.4.7		
絹本着色地藏菩薩像	鎌倉	明德院	坂本四丁目	M33.4.7		
絹本着色弥陀三尊二十五菩薩来迎図	鎌倉	安楽律院	坂本本町	M33.4.7		
絹本着色千手観音像	鎌倉	安楽律院	坂本本町	M33.4.7		
絹本着色当麻曇荼羅図	鎌倉	西教寺	坂本五丁目	M30.12.28		

参考

参考

参-3

参-3

■新旧対照表

新

旧

(P参-5)

(P参-5)

参考資料

参考資料

表 資料1-2 国指定等文化財（続き）

表 資料1-2 国指定等文化財（続き）

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日
彫刻	木造薬師如来坐像（薬師堂安置）	平安	専念寺	仰木二丁目	M34.3.27
	木造千手観音立像（観音堂安置）	平安	東光寺	仰木五丁目	M34.3.27
	木造地藏菩薩立像（地藏堂安置）	鎌倉	真迎寺	仰木二丁目	M34.3.27
	木造阿弥陀如来坐像	平安	指領寺	雄琴二丁目	M34.3.27
	木造不動明王二童子像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造千手観音立像	平安	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造釈迦如来立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造光定大師立像	南北朝	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造不動明王立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造大威徳明王像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造金剛夜叉明王立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造隆三世明王立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造軍荼利夜叉明王立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造四天王立像	平安	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造阿弥陀如来立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造聖観音立像（横川中堂安置）	平安	延暦寺	坂本本町	S16.11.6
	木造吉祥天立像	平安	延暦寺	坂本本町	S16.11.6
	木造維摩居士坐像	平安	延暦寺	坂本本町	S16.11.6
	木造慈恵大師坐像 弘安9年7月銘	鎌倉	延暦寺	坂本本町	S16.11.6
	木造慈恵大師坐像 文永2年12月18日銘	鎌倉	延暦寺	坂本本町	S16.11.6
	木造四天王立像（所在釈迦堂）	平安	延暦寺	坂本本町	S39.5.26
	木造大黒天立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	S39.5.26
	木造薬師如来坐像	平安	延暦寺	坂本本町	S19.9.5
	木造慈恵大師坐像	江戸	恵日院	坂本四丁目	M33.4.7
	木造慈恵大師坐像	鎌倉	求法寺	坂本五丁目	T2.4.14
	木造不動明王二童子立像	鎌倉	玉蓮院	坂本四丁目	M33.4.7
	木造阿弥陀如来立像	鎌倉	興実院	坂本五丁目	M33.4.7
	木造阿弥陀如来坐像	室町	寿量院	坂本五丁目	M33.4.7
	木造不動明王坐像	平安	大林院	坂本五丁目	M33.4.7
	木造地藏菩薩立像	鎌倉	妙行院	坂本四丁目	M33.4.7
	木造阿弥陀如来立像	鎌倉	宝光寺	坂本一丁目	M33.4.7
	木造十一面観音立像	平安	保安寺	坂本一丁目	M33.4.7
	木造阿弥陀如来坐像	平安	西教寺	坂本五丁目	M33.4.7
	木造聖観音立像	平安	西教寺	坂本五丁目	M33.4.7
	木造薬師如来坐像	鎌倉	西教寺	坂本五丁目	M33.4.7
	木造地藏菩薩半跏像	鎌倉	真光寺	下坂本四丁目	M33.4.7
	銅造観音菩薩立像	奈良	真光寺	下坂本四丁目	H26.8.21
	銅造釈迦如来坐像	鎌倉	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	M33.4.7
	木造十一面観音立像	平安	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	M33.4.7
	木造地藏菩薩立像	鎌倉	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	M33.4.7
	木造月光・日光仏立像	室町	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	M33.4.7
銅造薬師如来立像	飛鳥	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	M41.4.23	
木造千手観音立像	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7	
木造護法善神立像	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7	
木造黄不動尊立像	鎌倉	園城寺	園城寺町	M33.4.7	
木造吉祥天立像	鎌倉	園城寺	園城寺町	M33.4.7	
木造十一面観音立像	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7	

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日
彫刻	木造薬師如来坐像（薬師堂安置）	平安	専念寺	仰木二丁目	M34.3.27
	木造千手観音立像（観音堂安置）	平安	東光寺	仰木五丁目	M34.3.27
	木造地藏菩薩立像（地藏堂安置）	鎌倉	真迎寺	仰木二丁目	M34.3.27
	木造阿弥陀如来坐像	平安	指領寺	雄琴二丁目	M34.3.27
	木造不動明王二童子像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造千手観音立像	平安	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造釈迦如来立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造光定大師立像	南北朝	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造不動明王立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造大威徳明王像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造金剛夜叉明王立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造隆三世明王立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造軍荼利夜叉明王立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造四天王立像	平安	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造阿弥陀如来立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	M33.4.7
	木造聖観音立像（横川中堂安置）	平安	延暦寺	坂本本町	S16.11.6
	木造吉祥天立像	平安	延暦寺	坂本本町	S16.11.6
	木造維摩居士坐像	平安	延暦寺	坂本本町	S16.11.6
	木造慈恵大師坐像 弘安9年7月銘	鎌倉	延暦寺	坂本本町	S16.11.6
	木造慈恵大師坐像 文永2年12月18日銘	鎌倉	延暦寺	坂本本町	S16.11.6
	木造四天王立像（所在釈迦堂）	平安	延暦寺	坂本本町	S39.5.26
	木造大黒天立像	鎌倉	延暦寺	坂本本町	S39.5.26
	木造薬師如来坐像	平安	延暦寺	坂本本町	S19.9.5
	木造慈恵大師坐像	江戸	恵日院	坂本四丁目	M33.4.7
	木造慈恵大師坐像	鎌倉	求法寺	坂本五丁目	T2.4.14
	木造不動明王二童子立像	鎌倉	玉蓮院	坂本四丁目	M33.4.7
	木造阿弥陀如来立像	鎌倉	興実院	坂本五丁目	M33.4.7
	木造阿弥陀如来坐像	室町	寿量院	坂本五丁目	M33.4.7
	木造不動明王坐像	平安	大林院	坂本五丁目	M33.4.7
	木造地藏菩薩立像	鎌倉	妙行院	坂本四丁目	M33.4.7
	木造阿弥陀如来立像	鎌倉	宝光寺	坂本一丁目	M33.4.7
	木造十一面観音立像	平安	保安寺	坂本一丁目	M33.4.7
	木造阿弥陀如来坐像	平安	西教寺	坂本五丁目	M33.4.7
	木造聖観音立像	平安	西教寺	坂本五丁目	M33.4.7
	木造薬師如来坐像	鎌倉	西教寺	坂本五丁目	M33.4.7
	木造地藏菩薩半跏像	鎌倉	真光寺	下坂本四丁目	M33.4.7
	銅造観音菩薩立像	奈良	真光寺	下坂本四丁目	H26.8.21
	銅造釈迦如来坐像	鎌倉	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	M33.4.7
	木造十一面観音立像	平安	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	M33.4.7
	木造地藏菩薩立像	鎌倉	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	M33.4.7
	木造月光・日光仏立像	室町	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	M33.4.7
銅造薬師如来立像	飛鳥	聖衆来迎寺	比叡辻二丁目	M41.4.23	
木造千手観音立像	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7	
木造護法善神立像	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7	
木造黄不動尊立像	鎌倉	園城寺	園城寺町	M33.4.7	
木造吉祥天立像	鎌倉	園城寺	園城寺町	M33.4.7	
木造十一面観音立像	平安	園城寺	園城寺町	M33.4.7	

参考

参考

参-5

参-5

■新旧対照表

新

旧

(P参-6)

(P参-6)

参考資料

参考資料

表 資料1-2 国指定等文化財(続き)

表 資料1-2 国指定等文化財(続き)

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日
彫刻	木造阿彌如来坐像(所在護法善神堂)	鎌倉	圓城寺	圓城寺町	S3.8.17
	木造愛染明王坐像(所在正法寺)	平安	圓城寺	圓城寺町	S3.8.17
	木造不動明王坐像	平安	圓城寺	圓城寺町	S13.8.26
	木造智証大師坐像	平安	圓城寺	圓城寺町	S13.8.26
	木造如意輪觀音坐像(觀音堂安置)	平安	圓城寺	圓城寺町	S30.6.22
	木造阿彌如来坐像(所在觀音堂)	平安	安養寺	逢坂一丁目	M38.4.4
	木造觀音菩薩立像	平安	九品寺	京町一丁目	H26.8.21
	木造聖觀音立像	平安	兼念寺	京町二丁目	M33.4.7
	木造天命開別命坐像	平安	石坐神社	西の庄	M33.4.7
	木造伊賀采女毛子姫坐像	平安	石坐神社	西の庄	M33.4.7
	木造弘文天皇坐像	平安	石坐神社	西の庄	M33.4.7
	木造彦坐王坐像	鎌倉	石坐神社	西の庄	M33.4.7
	木造猿田彦命坐像	平安	平野神社	松本一丁目	M38.4.4
	木造阿彌如来坐像	平安	清徳院	膳所二丁目	M33.4.7
	木造釈迦如来坐像(伝安阿弥作)	鎌倉	円福院	富士見台	M33.4.7
	木造如意輪觀音半跏像(本堂安置)・像内納入品	平安	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	木造毘沙門天立像	平安	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	木造不動明王坐像	平安	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	金銅觀世音菩薩立像	奈良	石山寺	石山寺一丁目	M37.2.18
	銅造釈迦如来坐像	飛鳥	石山寺	石山寺一丁目	M37.2.18
	木造大日如来坐像(伝元多宝塔本尊)	平安	石山寺	石山寺一丁目	M37.2.18
	木造維摩居士坐像	平安	石山寺	石山寺一丁目	M37.2.18
	木造持国天立像・増長天立像・毘沙門天立像	平安	石山寺	石山寺一丁目	M43.8.29
	木造如意輪觀音半跏像	平安	石山寺	石山寺一丁目	S30.6.22
	塑造淨祐内供坐像(御影堂安置)	室町	石山寺	石山寺一丁目	S30.6.22
	木造大日如来坐像(多宝塔安置)	鎌倉	石山寺	石山寺一丁目	H11.6.7
	塑造金剛藏王立像心木	奈良	石山寺	石山寺一丁目	H16.6.8
	木造地藏菩薩立像	平安	岩間山正法寺	石山内畑町	M33.4.7
	木造不動明王二童子立像	鎌倉	岩間山正法寺	石山内畑町	M33.4.7
	木造地藏菩薩坐像(所在本堂)	平安	正願寺	大石龍門五丁目	M38.4.4
	木造仏像(寺伝弥勒菩薩立像)(所在本堂)	平安	若王寺	大石中三丁目	M38.4.4
	木造薬師如来坐像	平安	法楽寺	大石東一丁目	M38.4.4
	木造釈迦如来及西脇侍坐像	平安	常信寺	大石富川一丁目	S51.6.5
	木造薬師如来坐像(薬師堂安置)	平安	安楽寺	枝一丁目	M38.4.4
	木造帝釈天立像(所在本堂)	平安	正法寺	黒津二丁目	M38.4.4
	木造女神坐像	平安	建部大社	神領一丁目	M38.4.4
木造獅子狛犬	平安	若松神社	大江二丁目	H27.9.4	
葛川明王院御正体 付 御正体 5面	室町	明王院	葛川坊村町	H25.6.19	
尾長鳥纏縁花文錦打敷	鎌倉	延暦寺	坂本本町	S39.5.26	
金銀鍍水瓶	鎌倉	弘法寺	坂本五丁目	S39.5.26	
日吉山王金銅装神輿	桃山・江戸	日吉大社	坂本五丁目	M33.4.7	

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日
彫刻	木造阿彌如来坐像(所在護法善神堂)	鎌倉	圓城寺	圓城寺町	S3.8.17
	木造愛染明王坐像(所在正法寺)	平安	圓城寺	圓城寺町	S3.8.17
	木造不動明王坐像	平安	圓城寺	圓城寺町	S13.8.26
	木造智証大師坐像	平安	圓城寺	圓城寺町	S13.8.26
	木造如意輪觀音坐像(觀音堂安置)	平安	圓城寺	圓城寺町	S30.6.22
	木造阿彌如来坐像(所在觀音堂)	平安	安養寺	逢坂一丁目	M38.4.4
	木造觀音菩薩立像	平安	九品寺	京町一丁目	H26.8.21
	木造聖觀音立像	平安	兼念寺	京町二丁目	M33.4.7
	木造天命開別命坐像	平安	石坐神社	西の庄	M33.4.7
	木造伊賀采女毛子姫坐像	平安	石坐神社	西の庄	M33.4.7
	木造弘文天皇坐像	平安	石坐神社	西の庄	M33.4.7
	木造彦坐王坐像	鎌倉	石坐神社	西の庄	M33.4.7
	木造猿田彦命坐像	平安	平野神社	松本一丁目	M38.4.4
	木造阿彌如来坐像	平安	清徳院	膳所二丁目	M33.4.7
	木造釈迦如来坐像(伝安阿弥作)	鎌倉	円福院	富士見台	M33.4.7
	木造如意輪觀音半跏像(本堂安置)・像内納入品	平安	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	木造毘沙門天立像	平安	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	木造不動明王坐像	平安	石山寺	石山寺一丁目	M33.4.7
	金銅觀世音菩薩立像	奈良	石山寺	石山寺一丁目	M37.2.18
	銅造釈迦如来坐像	飛鳥	石山寺	石山寺一丁目	M37.2.18
	木造大日如来坐像(伝元多宝塔本尊)	平安	石山寺	石山寺一丁目	M37.2.18
	木造維摩居士坐像	平安	石山寺	石山寺一丁目	M37.2.18
	木造持国天立像・増長天立像・毘沙門天立像	平安	石山寺	石山寺一丁目	M43.8.29
	木造如意輪觀音半跏像	平安	石山寺	石山寺一丁目	S30.6.22
	塑造淨祐内供坐像(御影堂安置)	室町	石山寺	石山寺一丁目	S30.6.22
	木造大日如来坐像(多宝塔安置)	鎌倉	石山寺	石山寺一丁目	H11.6.7
	塑造金剛藏王立像心木	奈良	石山寺	石山寺一丁目	H16.6.8
	木造地藏菩薩立像	平安	岩間山正法寺	石山内畑町	M33.4.7
	木造不動明王二童子立像	鎌倉	岩間山正法寺	石山内畑町	M33.4.7
	木造地藏菩薩坐像(所在本堂)	平安	正願寺	大石龍門五丁目	M38.4.4
	木造仏像(寺伝弥勒菩薩立像)(所在本堂)	平安	若王寺	大石中三丁目	M38.4.4
	木造薬師如来坐像	平安	法楽寺	大石東一丁目	M38.4.4
	木造釈迦如来及西脇侍坐像	平安	常信寺	大石富川一丁目	S51.6.5
	木造薬師如来坐像(薬師堂安置)	平安	安楽寺	枝一丁目	M38.4.4
	木造帝釈天立像(所在本堂)	平安	正法寺	黒津二丁目	M38.4.4
	木造女神坐像	平安	建部大社	神領一丁目	M38.4.4
木造獅子狛犬	平安	若松神社	大江二丁目	H27.9.4	
葛川明王院御正体 付 御正体 5面	室町	明王院	葛川坊村町	H25.6.19	
尾長鳥纏縁花文錦打敷	鎌倉	延暦寺	坂本本町	S39.5.26	
金銀鍍水瓶	鎌倉	弘法寺	坂本五丁目	S39.5.26	
日吉山王金銅装神輿	桃山・江戸	日吉大社	坂本五丁目	M33.4.7	

参考

参考

6

6

■新旧対照表

新

旧

(P参-9)

(P参-9)

参考資料

参考資料

表 資料1-3 県指定文化財(続き)

表 資料1-3 県指定文化財(続き)

種別	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日		
有形文化財	建造物	酒井神社本殿	江戸	酒井神社	下阪本四丁目	S34.2.10	
		園城寺唐院長日護摩堂	江戸	園城寺	園城寺町	S35.1.20	
		水観寺本堂	江戸	園城寺	園城寺町	S59.3.30	
		園城寺南院礼所伽藍観音堂・鐘楼・百体堂・観月舞台	江戸	園城寺	園城寺町	S61.3.28	
		石坐神社本殿	鎌倉	石坐神社	西の庄	S32.8.26	
		石山寺豊沙門堂	江戸	石山寺	石山寺一丁目	H19.6.1	
		草津川桐生堰堤(オランダ堰堤)	明治	滋賀県	上田上桐生町	H23.3.24	
		絵画	紙本墨面観山図 曾我蕭白筆	江戸	滋賀県	京町四丁目	H23.3.19
			紙本墨面楼閣山水図 高田敬輔筆	江戸	滋賀県	京町四丁目	H29.3.23
			紙本墨面琴棋書画図 高田敬輔筆				
	絹本着色阿弥陀三尊来迎図		鎌倉	光明寺	伊香立南庄町	H27.12.18	
	絹本着色山王本地仏曼荼羅図		鎌倉	延暦寺	坂本本町	S56.4.24	
	絹本着色慈恵大師像		鎌倉	延暦寺	坂本本町	H25.3.19	
	絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図		鎌倉	弘法寺	坂本五丁目	H5.3.31	
	絹本着色熊野曼荼羅		南北朝	西教寺	坂本五丁目	S47.4.1	
	絹本着色真盛上人像		室町	西教寺	坂本五丁目	H2.3.31	
	絹本着色円観像		南北朝	西教寺	坂本五丁目	H30.10.17	
	彫刻	絹本着色恵心僧都像	鎌倉	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	S32.8.26	
		絹本着色智証大師像	室町	園城寺	園城寺町	H2.3.31	
		絹本着色春日曼荼羅図	南北朝	石山寺	石山寺一丁目	H27.3.24	
		絹本着色弘法大師像	鎌倉	石山寺	石山寺一丁目	H29.11.24	
		木造阿弥陀如来及面脇侍立像	鎌倉	西教寺	坂本五丁目	H25.3.19	
		木造大黒天立像	南北朝	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	S41.7.4	
		木造金剛力士立像	室町	園城寺	園城寺町	H30.10.17	
		木造菩薩形坐像	鎌倉	寂光寺	藤尾奥町	H1.3.31	
		木造聖徳太子立像	鎌倉	国分聖徳太子会	国分一丁目	S41.4.7	
		木造阿弥陀如来坐像	平安	石山寺	石山寺一丁目	H16.4.16	
	木造如意輪観音半跏像	平安	法輪院	石山寺一丁目	H15.4.16		
	木造薬師如来坐像(行者堂安置)	平安	須賀神社	羽栗三丁目	S56.4.24		
	木造阿弥陀如来立像(裸形)	鎌倉	浄光寺	大江三丁目	S57.3.31		
木造普賢立像	平安	松禅院	坂本本町	R3.2.16			
木造地藏菩薩立像	平安	松禅院	坂本本町	R3.2.16			
工芸品	信楽 矢箸口水指	桃山	滋賀県	京町四丁目	H2.3.24		
	金銅八角形釣燈籠	室町	地主神社	葛川坊村町	S40.8.9		
	梵鐘	南北朝	明王院	葛川坊村町	S34.2.10		
	銅鉢	南北朝	明王院	葛川坊村町	H18.3.17		
	梵鐘	鎌倉	正源寺	真野五丁目	S57.3.31		
	木造厨子	室町	延暦寺	坂本本町	S38.8.21		
	金銅独鈷杆	平安	延暦寺	坂本本町	H9.3.31		
	花卉鳥獸文様刺繍打敷 元和二年、長谷川左兵衛尉藤 広奇進の転写の銘がある	明	西教寺	坂本五丁目	H26.1.17		
	銅独鈷杆	平安	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	H9.3.31		
	梵鐘	桃山	園城寺	園城寺町	S34.2.10		
釣口(所在水観寺)	鎌倉	園城寺	園城寺町	S59.3.30			
書跡、典籍、古文書	東寺文書(滋賀県所有本)	江戸	滋賀県	京町四丁目	H19.6.1		
	近江国絵図	江戸一明治	滋賀県	京町四丁目	S42.4.24		
	鴨田遺跡出土巡礼	室町	滋賀県	京町四丁目	H17.4.20		
	東光寺遺跡出土呪符木簡	平安	滋賀県	京町四丁目	H17.4.20		

種別	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日		
有形文化財	建造物	酒井神社本殿	江戸	酒井神社	下阪本四丁目	S34.2.10	
		園城寺唐院長日護摩堂	江戸	園城寺	園城寺町	S35.1.20	
		水観寺本堂	江戸	園城寺	園城寺町	S59.3.30	
		園城寺南院礼所伽藍観音堂・鐘楼・百体堂・観月舞台	江戸	園城寺	園城寺町	S61.3.28	
		石坐神社本殿	鎌倉	石坐神社	西の庄	S32.8.26	
		石山寺豊沙門堂	江戸	石山寺	石山寺一丁目	H19.6.1	
		草津川桐生堰堤(オランダ堰堤)	明治	滋賀県	上田上桐生町	H23.3.24	
		絵画	紙本墨面観山図 曾我蕭白筆	江戸	滋賀県	京町四丁目	H23.3.19
			紙本墨面楼閣山水図 高田敬輔筆	江戸	滋賀県	京町四丁目	H29.3.23
			紙本墨面琴棋書画図 高田敬輔筆				
	絹本着色阿弥陀三尊来迎図		鎌倉	光明寺	伊香立南庄町	H27.12.18	
	絹本着色山王本地仏曼荼羅図		鎌倉	延暦寺	坂本本町	S56.4.24	
	絹本着色慈恵大師像		鎌倉	延暦寺	坂本本町	H25.3.19	
	絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図		鎌倉	弘法寺	坂本五丁目	H5.3.31	
	絹本着色熊野曼荼羅		南北朝	西教寺	坂本五丁目	S47.4.1	
	絹本着色真盛上人像		室町	西教寺	坂本五丁目	H2.3.31	
	絹本着色円観像		南北朝	西教寺	坂本五丁目	H30.10.17	
	彫刻	絹本着色恵心僧都像	鎌倉	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	S32.8.26	
		絹本着色智証大師像	室町	園城寺	園城寺町	H2.3.31	
		絹本着色春日曼荼羅図	南北朝	石山寺	石山寺一丁目	H27.3.24	
		絹本着色弘法大師像	鎌倉	石山寺	石山寺一丁目	H29.11.24	
		木造阿弥陀如来及面脇侍立像	鎌倉	西教寺	坂本五丁目	H25.3.19	
		木造大黒天立像	南北朝	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	S41.7.4	
		木造金剛力士立像	室町	園城寺	園城寺町	H30.10.17	
		木造菩薩形坐像	鎌倉	寂光寺	藤尾奥町	H1.3.31	
		木造聖徳太子立像	鎌倉	国分聖徳太子会	国分一丁目	S41.4.7	
		木造阿弥陀如来坐像	平安	石山寺	石山寺一丁目	H16.4.16	
	木造如意輪観音半跏像	平安	法輪院	石山寺一丁目	H15.4.16		
	木造薬師如来坐像(行者堂安置)	平安	須賀神社	羽栗三丁目	S56.4.24		
	木造阿弥陀如来立像(裸形)	鎌倉	浄光寺	大江三丁目	S57.3.31		
木造普賢立像	平安	松禅院	坂本本町	R3.2.16			
木造地藏菩薩立像	平安	松禅院	坂本本町	R3.2.16			
工芸品	信楽 矢箸口水指	桃山	滋賀県	京町四丁目	H2.3.24		
	金銅八角形釣燈籠	室町	地主神社	葛川坊村町	S40.8.9		
	梵鐘	南北朝	明王院	葛川坊村町	S34.2.10		
	銅鉢	南北朝	明王院	葛川坊村町	H18.3.17		
	梵鐘	鎌倉	正源寺	真野五丁目	S57.3.31		
	木造厨子	室町	延暦寺	坂本本町	S38.8.21		
	金銅独鈷杆	平安	延暦寺	坂本本町	H9.3.31		
	花卉鳥獸文様刺繍打敷 元和二年、長谷川左兵衛尉藤 広奇進の転写の銘がある	明	西教寺	坂本五丁目	H26.1.17		
	銅独鈷杆	平安	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	H9.3.31		
	梵鐘	桃山	園城寺	園城寺町	S34.2.10		
釣口(所在水観寺)	鎌倉	園城寺	園城寺町	S59.3.30			
書跡、典籍、古文書	東寺文書(滋賀県所有本)	江戸	滋賀県	京町四丁目	H19.6.1		
	近江国絵図	江戸一明治	滋賀県	京町四丁目	S42.4.24		
	鴨田遺跡出土巡礼	室町	滋賀県	京町四丁目	H17.4.20		
	東光寺遺跡出土呪符木簡	平安	滋賀県	京町四丁目	H17.4.20		

参考

参考

参-9

参-9

■新旧対照表

新

旧

(P参-10)

(P参-10)

参考資料

参考資料

表 資料1-3 県指定文化財(続き)

種別	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日	
有形文化財	書跡、典籍、古文書	近江輿地志略	江戸	滋賀県	京町四丁目	H18.3.17
		大般若波羅蜜多經(崇永版)	南北朝	樹下神社	北小松	H12.3.10
		比良庄絵図	室町	北比良区	北比良	H12.3.10
		往生要集	鎌倉~南北朝	延暦寺	坂本本町	H9.3.31
		不空羂索神変真言経巻第三	奈良	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	S62.3.30
		注大般若波羅蜜経第十	奈良	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	S62.3.30
		妙法蓮華経普門品第二十五	奈良	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	S62.3.30
		近江輿地志略	江戸	浄光寺	石山外畑町	H18.3.17
		四分律刑罰補闕行事鈔断簡	奈良	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	R3.2.16
		松原内湖遺跡出土篋状木製品	縄文	滋賀県	京町四丁目	H15.4.16
	史跡大中の湖南遺跡出土木製品	弥生	滋賀県	京町四丁目	H15.4.16	
	烏丸崎遺跡出土木偶	弥生	滋賀県	京町四丁目	H15.4.16	
	湯ノ部遺跡出土木偶	弥生	滋賀県	京町四丁目	H15.4.16	
	供養塚古墳出土形象埴輪	古墳	滋賀県	京町四丁目	H16.4.16	
	鍛冶屋敷遺跡出土遺物	奈良	滋賀県	京町四丁目	H19.6.1	
	相谷熊原遺跡出土土器、土器、石器	縄文	滋賀県	京町四丁目	H27.12.18	
	上御殿遺跡出土短剣鍔型	弥生	滋賀県	京町四丁目	R1.12.24	
	桜生七号墳出土品	古墳	滋賀県	京町四丁目	R3.2.16	
	歴史資料	滋賀県行政文書	明治~昭和	滋賀県	京町四丁目	H25.3.19
		大津事件関係資料	明治	滋賀県	京町四丁目	H16.4.16
西国三十三所巡礼札		室町~江戸	石山寺	石山寺一丁目	H3.3.30	
無形文化財	木工芸		宮本貞治	大物	H16.4.16	
	青磁		神農巖	和邇北浜	H25.3.19	
有形民俗文化財	貴井の木地屋用具と製品	江戸~昭和	滋賀県	京町四丁目	S59.3.30	
	八日市の柄屋用具及び製品	明治~昭和	滋賀県	京町四丁目	S61.3.28	
	参籠札	鎌倉~桃山	明王院	葛川坊村	S40.8.9	
史跡	禾津頓宮跡		滋賀県	膳所二丁目	H21.11.25	
	盛安寺庭園		盛安寺	坂本一丁目	S56.4.24	
名勝	聖衆来迎寺庭園		聖衆来迎寺	比叡社二丁目	S57.3.31	
	唐崎(唐崎神社境内)		日吉大社	唐崎一丁目	H10.6.19	
	旧正蔵坊庭園	江戸	個人	小関町	H30.4.1	

表 資料1-4 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

種別	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	選択年月日
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	栗原の八朔踊りと水分神社の祭り行事		栗原区	栗原	H12.3.10
	栗原の太鼓念仏		大念仏講	栗原	H10.6.19
	真野の六斎念仏		中村会 沢六斎念仏保存会	真野	H10.6.19
	大津祭		大津祭保存会		S32.12.19
	大江の鉦振り		若松神社鉦保存会	大江二丁目	H16.4.16

参考

表 資料1-3 県指定文化財(続き)

種別	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日	
有形文化財	書跡、典籍、古文書	近江輿地志略	江戸	滋賀県	京町四丁目	H18.3.17
		大般若波羅蜜多經(崇永版)	南北朝	樹下神社	北小松	H12.3.10
		比良庄絵図	室町	北比良区	北比良	H12.3.10
		往生要集	鎌倉~南北朝	延暦寺	坂本本町	H9.3.31
		不空羂索神変真言経巻第三	奈良	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	S62.3.30
		注大般若波羅蜜経第十	奈良	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	S62.3.30
		妙法蓮華経普門品第二十五	奈良	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	S62.3.30
		近江輿地志略	江戸	浄光寺	石山外畑町	H18.3.17
		四分律刑罰補闕行事鈔断簡	奈良	聖衆来迎寺	比叡社二丁目	R3.2.16
		松原内湖遺跡出土篋状木製品	縄文	滋賀県	京町四丁目	H15.4.16
	史跡大中の湖南遺跡出土木製品	弥生	滋賀県	京町四丁目	H15.4.16	
	烏丸崎遺跡出土木偶	弥生	滋賀県	京町四丁目	H15.4.16	
	湯ノ部遺跡出土木偶	弥生	滋賀県	京町四丁目	H15.4.16	
	供養塚古墳出土形象埴輪	古墳	滋賀県	京町四丁目	H16.4.16	
	鍛冶屋敷遺跡出土遺物	奈良	滋賀県	京町四丁目	H19.6.1	
	相谷熊原遺跡出土土器、土器、石器	縄文	滋賀県	京町四丁目	H27.12.18	
	上御殿遺跡出土短剣鍔型	弥生	滋賀県	京町四丁目	R1.12.24	
	歴史資料	滋賀県行政文書	明治~昭和	滋賀県	京町四丁目	H25.3.19
		大津事件関係資料	明治	滋賀県	京町四丁目	H16.4.16
		西国三十三所巡礼札	室町~江戸	石山寺	石山寺一丁目	H3.3.30
無形文化財	木工芸		宮本貞治	大物	H16.4.16	
	青磁		神農巖	和邇北浜	H25.3.19	
有形民俗文化財	貴井の木地屋用具と製品	江戸~昭和	滋賀県	京町四丁目	S59.3.30	
	八日市の柄屋用具及び製品	明治~昭和	滋賀県	京町四丁目	S61.3.28	
	参籠札	鎌倉~桃山	明王院	葛川坊村	S40.8.9	
史跡	禾津頓宮跡		滋賀県	膳所二丁目	H21.11.25	
	盛安寺庭園		盛安寺	坂本一丁目	S56.4.24	
名勝	聖衆来迎寺庭園		聖衆来迎寺	比叡社二丁目	S57.3.31	
	唐崎(唐崎神社境内)		日吉大社	唐崎一丁目	H10.6.19	
	旧正蔵坊庭園	江戸	個人	小関町	H30.4.1	

表 資料1-4 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

種別	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	選択年月日
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	栗原の八朔踊りと水分神社の祭り行事		栗原区	栗原	H12.3.10
	栗原の太鼓念仏		大念仏講	栗原	H10.6.19
	真野の六斎念仏		中村会 沢六斎念仏保存会	真野	H10.6.19
	大津祭		大津祭保存会		S32.12.19
	大江の鉦振り		若松神社鉦保存会	大江二丁目	H16.4.16

参考

■新旧対照表

新

旧

(P参-15)

(P参-15)

参考資料

参考資料

表 資料1-6 国の登録文化財(続き)

表 資料1-6 国の登録文化財(続き)

種別	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	登録年月日
有形文化財	建造物				
	海門山満月寺浮御堂	昭和	満月寺	本堅田一丁目	H12.4.28
	海門山満月寺観音堂	江戸	満月寺	本堅田一丁目	H12.4.28
	海門山満月寺客殿	江戸	満月寺	本堅田一丁目	H12.4.28
	海門山満月寺山門	江戸	満月寺	本堅田一丁目	H12.4.28
	海門山満月寺茶室(玉鈎亭)	昭和	満月寺	本堅田一丁目	H12.4.28
	延暦寺大書院	大正	延暦寺	坂本本町	H13.8.28
	延暦寺大書院庭門	大正	延暦寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺御廟	江戸	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺客殿通用門	大正	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺書院	大正	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺観瀾亭	明治	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺新座敷	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺浴室	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺内司課客殿	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺内司課庫裏	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺内司課渡廊下	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺内司課蔵	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺灌頂蔵	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺正教蔵	明治	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺水屋	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺納骨堂	大正	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺宗祖大師殿	明治	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺宗祖大師殿唐門	大正	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺宗祖大師殿通用門	大正	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺宗祖大師殿水屋	大正	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	實成坊門	江戸	實成坊	坂本本町	H13.10.12
	禪林坊門	江戸	禪林坊	坂本本町	H13.10.12
	徳業坊門	明治	徳業坊	坂本本町	H13.10.12
	禪明坊門	明治	禪明坊	坂本本町	H13.10.12
	真盛園講堂(旧専門学寮講堂)	昭和	社会福祉法人 真盛園	坂本本町	H13.10.12
	安養院阿弥陀堂	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院庫裡	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院書院	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院門	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院弁天堂	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院地藏堂	江戸	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院聖天堂	江戸	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院礼拝堂	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院蔵	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	葛野常満家住宅主屋	江戸	個人	葛川坊村町	H13.11.20
	葛野常満家住宅蔵	明治	個人	葛川坊村町	H13.11.20
	葛野常喜家住宅主屋	江戸	個人	葛川坊村町	H14.2.14
	葛野常喜家住宅蔵	江戸	個人	葛川坊村町	H14.2.14
	大津魚忠	明治	有限会社ウオ チュウ	京町二丁目	H14.2.14
北川家住宅主屋	江戸	個人	京町一丁目	H22.4.28	
北川家住宅土蔵	江戸	個人	京町一丁目	H22.4.28	
石田家住宅主屋	昭和	個人	中央一丁目	H22.4.28	
石田家住宅洋館(石田歯科医 院)	昭和	個人	中央一丁目	H22.4.28	
桐畑家住宅主屋	明治	個人	中央一丁目	H22.4.28	
桐畑家住宅離れ	江戸	個人	中央一丁目	H22.4.28	
桐畑家住宅土蔵	江戸	個人	中央一丁目	H22.4.28	

種別	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	登録年月日
有形文化財	建造物				
	海門山満月寺浮御堂	昭和	満月寺	本堅田一丁目	H12.4.28
	海門山満月寺観音堂	江戸	満月寺	本堅田一丁目	H12.4.28
	海門山満月寺客殿	江戸	満月寺	本堅田一丁目	H12.4.28
	海門山満月寺山門	江戸	満月寺	本堅田一丁目	H12.4.28
	海門山満月寺茶室(玉鈎亭)	昭和	満月寺	本堅田一丁目	H12.4.28
	延暦寺大書院	大正	延暦寺	坂本本町	H13.8.28
	延暦寺大書院庭門	大正	延暦寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺御廟	江戸	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺客殿通用門	大正	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺書院	大正	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺観瀾亭	明治	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺新座敷	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺浴室	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺内司課客殿	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺内司課庫裏	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺内司課渡廊下	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺内司課蔵	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺灌頂蔵	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺正教蔵	明治	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺水屋	昭和	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺納骨堂	大正	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺宗祖大師殿	明治	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺宗祖大師殿唐門	大正	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺宗祖大師殿通用門	大正	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	西教寺宗祖大師殿水屋	大正	西教寺	坂本本町	H13.8.28
	實成坊門	江戸	實成坊	坂本本町	H13.10.12
	禪林坊門	江戸	禪林坊	坂本本町	H13.10.12
	徳業坊門	明治	徳業坊	坂本本町	H13.10.12
	禪明坊門	明治	禪明坊	坂本本町	H13.10.12
	真盛園講堂(旧専門学寮講堂)	昭和	社会福祉法人 真盛園	坂本本町	H13.10.12
	安養院阿弥陀堂	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院庫裡	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院書院	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院門	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院弁天堂	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院地藏堂	江戸	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院聖天堂	江戸	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院礼拝堂	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	安養院蔵	昭和	安養院	坂本本町	H13.10.12
	葛野常満家住宅主屋	江戸	個人	葛川坊村町	H13.11.20
	葛野常満家住宅蔵	明治	個人	葛川坊村町	H13.11.20
	葛野常喜家住宅主屋	江戸	個人	葛川坊村町	H14.2.14
	葛野常喜家住宅蔵	江戸	個人	葛川坊村町	H14.2.14
	大津魚忠	明治	有限会社ウオ チュウ	京町二丁目	H14.2.14
北川家住宅主屋	江戸	個人	京町一丁目	H22.4.28	
北川家住宅土蔵	江戸	個人	京町一丁目	H22.4.28	
石田家住宅主屋	昭和	個人	中央一丁目	H22.4.28	
石田家住宅洋館(石田歯科医 院)	昭和	個人	中央一丁目	H22.4.28	
桐畑家住宅主屋	明治	個人	中央一丁目	H22.4.28	
桐畑家住宅離れ	江戸	個人	中央一丁目	H22.4.28	
桐畑家住宅土蔵	江戸	個人	中央一丁目	H22.4.28	

参-15

参-15

■新旧対照表

新

旧

(P参-16)

(P参-16)

参考資料

参考資料

表 資料1-6 国の登録文化財(続き)

表 資料1-6 国の登録文化財(続き)

種別	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	登録年月日	
有形文化財	建造物					
	佐野家住宅主屋	江戸	個人	中央二丁目	H22.4.28	
	佐野家住宅土蔵	江戸	個人	中央二丁目	H22.4.28	
	初田家住宅主屋	江戸	個人	中央二丁目	H22.4.28	
	初田家住宅土蔵	江戸	個人	中央二丁目	H22.4.28	
	初田家住宅塀	江戸	個人	中央二丁目	H22.4.28	
	大津市旧大津公会堂	昭和	大津市	浜大津一丁目	H23.1.26	
	小川家住宅主屋	江戸	個人	京町三丁目	H23.7.25	
	小川家住宅土蔵	江戸	個人	京町三丁目	H23.7.25	
	森本家住宅主屋	江戸	個人	浜町	H23.7.25	
	森本家住宅門扉	昭和	個人	浜町	H23.7.25	
	豆信科亭棟	大正	個人	長等三丁目	H23.10.28	
	豆信蔵	大正	個人	長等三丁目	H23.10.28	
	豆信門塀	昭和	個人	長等三丁目	H23.10.28	
	木村家住宅主屋	明治	個人	長等二丁目	H24.8.13	
	木村家住宅土蔵	明治	個人	長等二丁目	H24.8.13	
	中野家住宅主屋	明治	個人	中央一丁目	H24.8.13	
	中野家住宅離れ	明治	個人	中央一丁目	H24.8.13	
	中野家住宅土蔵	明治	個人	中央一丁目	H24.8.13	
	中野家住宅主屋	明治	個人	中央一丁目	H24.8.13	
	川嶋家住宅主屋	昭和	個人	中央二丁目	H24.8.13	
	川嶋家住宅土蔵	明治	個人	中央二丁目	H24.8.13	
	阪本屋店舗兼主屋	昭和	個人	長等一丁目	H25.3.29	
	橋本家住宅(旧正蔵坊)主屋	江戸	個人	小関町	H25.3.29	
	滋賀県庁本館	昭和	滋賀県	京町四丁目	H26.12.19	
	宮本家住宅主屋	昭和	個人	音羽台	H26.12.19	
	旧多田家住宅主屋	明治	個人	京町二丁目	H26.12.19	
	龍谷大学瀬田学舎樹心館	明治	学校法人龍谷大学	瀬田大江町	H27.8.4	
	奥村家住宅主屋	昭和	個人	長等二丁目	H29.10.27	
	川村家住宅主屋	大正	個人	中央一丁目	H29.10.27	
	幹世主屋	昭和	株式会社湖北設計	長等三丁目	H30.3.27	
	標和田家住宅主屋	明治	個人	中央一丁目	R2.4.3	
	標和田家住宅土蔵	明治	個人	中央一丁目	R2.4.3	
	藤原家住宅主屋	昭和	個人	中央一丁目	R2.4.3	
	川上家住宅主屋	昭和	個人	中央一丁目	R2.4.3	
	丸亀家住宅主屋	昭和	個人	中央一丁目	R2.4.3	
	栗山家住宅主屋	昭和	個人	中央一丁目	R2.4.3	
	清水家住宅主屋	昭和	個人	観音寺	R2.4.3	
	岩崎家住宅主屋	江戸末~明治	個人	木戸	R2.4.3	
	記念物					
	近江八景(整田落雁)		満月寺	本堅田一丁目	H21.2.12	
近江八景(三井晩鐘)		園城寺町		H21.2.12		
有形民俗文化財						
琵琶湖の漁撈用具及び船大工用具		滋賀県	京町四丁目	H30.3.8		
田上の衣生活資料		真光寺	牧一丁目	H31.3.28		

種別	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	登録年月日	
有形文化財	建造物					
	佐野家住宅主屋	江戸	個人	中央二丁目	H22.4.28	
	佐野家住宅土蔵	江戸	個人	中央二丁目	H22.4.28	
	初田家住宅主屋	江戸	個人	中央二丁目	H22.4.28	
	初田家住宅土蔵	江戸	個人	中央二丁目	H22.4.28	
	初田家住宅塀	江戸	個人	中央二丁目	H22.4.28	
	大津市旧大津公会堂	昭和	大津市	浜大津一丁目	H23.1.26	
	小川家住宅主屋	江戸	個人	京町三丁目	H23.7.25	
	小川家住宅土蔵	江戸	個人	京町三丁目	H23.7.25	
	森本家住宅主屋	江戸	個人	浜町	H23.7.25	
	森本家住宅門扉	昭和	個人	浜町	H23.7.25	
	豆信科亭棟	大正	個人	長等三丁目	H23.10.28	
	豆信蔵	大正	個人	長等三丁目	H23.10.28	
	豆信門塀	昭和	個人	長等三丁目	H23.10.28	
	木村家住宅主屋	明治	個人	長等二丁目	H24.8.13	
	木村家住宅土蔵	明治	個人	長等二丁目	H24.8.13	
	中野家住宅主屋	明治	個人	中央一丁目	H24.8.13	
	中野家住宅離れ	明治	個人	中央一丁目	H24.8.13	
	中野家住宅土蔵	明治	個人	中央一丁目	H24.8.13	
	中野家住宅主屋	明治	個人	中央一丁目	H24.8.13	
	川嶋家住宅主屋	昭和	個人	中央二丁目	H24.8.13	
	川嶋家住宅土蔵	明治	個人	中央二丁目	H24.8.13	
	阪本屋店舗兼主屋	昭和	個人	長等一丁目	H25.3.29	
	橋本家住宅(旧正蔵坊)主屋	江戸	個人	小関町	H25.3.29	
	滋賀県庁本館	昭和	滋賀県	京町四丁目	H26.12.19	
	宮本家住宅主屋	昭和	個人	音羽台	H26.12.19	
	旧多田家住宅主屋	明治	個人	京町二丁目	H26.12.19	
	龍谷大学瀬田学舎樹心館	明治	学校法人龍谷大学	瀬田大江町	H27.8.4	
	奥村家住宅主屋	昭和	個人	長等二丁目	H29.10.27	
	川村家住宅主屋	大正	個人	中央一丁目	H29.10.27	
	幹世主屋	昭和	株式会社湖北設計	長等三丁目	H30.3.27	
	標和田家住宅主屋	明治	個人	中央一丁目	R2.4.3	
	標和田家住宅土蔵	明治	個人	中央一丁目	R2.4.3	
	藤原家住宅主屋	昭和	個人	中央一丁目	R2.4.3	
	川上家住宅主屋	昭和	個人	中央一丁目	R2.4.3	
	丸亀家住宅主屋	昭和	個人	中央一丁目	R2.4.3	
	栗山家住宅主屋	昭和	個人	中央一丁目	R2.4.3	
	清水家住宅主屋	昭和	個人	観音寺	R2.4.3	
	岩崎家住宅主屋	江戸末~明治	個人	木戸	R2.4.3	
	記念物					
	近江八景(整田落雁)		満月寺	本堅田一丁目	H21.2.12	
近江八景(三井晩鐘)		園城寺町		H21.2.12		
有形民俗文化財						
琵琶湖の漁撈用具及び船大工用具		滋賀県	京町四丁目	H30.3.8		
田上の衣生活資料		真光寺	牧一丁目	H31.3.28		

参考

参考

■新旧対照表

新	旧																								
(P参-17)	(P参-17)																								
参考資料	参考資料																								
資料2 意見聴取	資料2 意見聴取																								
<table border="1"> <tr> <td>No.</td> <td>1</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">No Image</td> </tr> <tr> <td>学区</td> <td>瀬田南学区</td> </tr> <tr> <td>主な相手先</td> <td>瀬田南地域文化振興関係者</td> </tr> <tr> <td>日時</td> <td>2019年3月14日(木曜)</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td colspan="2"> <p>・瀬田南学区で大きな活動と言えば、船幸祭であるが、もともとは春の例祭のほうが由緒ある祭りである</p> <p>・春の例祭では、建部大社から神輿が出る。昔は、瀬田の唐橋まで行って、氏子域になる唐橋の東詰めあたりを回っていたが、今は担ぎ手がおらず、建部大社から中ノ島間を往復するだけになった</p> <p>・建部大社の祭礼は、「氏子」、「座」という地元住民による組織で行われる。「座」の方が古くからの組織で、「座」だけでは祭礼が維持できなくなってきたことから、「氏子」が作られたと聞く</p> <p>・「座」である家の住民は、祭礼では大きな役目を与えられ、船幸祭などの祭礼では先頭を馬に乗って歩くなどをした。今は、馬に乗ることはなくなったが、今でも「座」が大きな役目を担う</p> <p>・「座」は、春の例祭や船幸祭だけでなく、それぞれの「座」が担当する別の祭礼もある</p> <p>・「座」は一族の家主が世襲してきた。分家の人間は絶対に「座」になることはできないものであったが、「座」も段々脱退する人や家主ではなく分家の人間が引き継ぐようになってきた</p> <p>・昔は、春の例祭も船幸祭も神輿の渡御が途中で休憩したりしながら進んだので非常にゆっくりであったが、今はすぐ行って、すぐ帰るような状態になっていて、少しさびしくなっている</p> <p>・昔は、船幸祭の当日の前に宵宮があり、「座」の子ども達が舞を奉納したりする行事をしていたが、今はなくなっている</p> <p>・船幸祭は、春の例祭に比べると歴史は浅いが、私(80代)が子どもの頃には行っていたので、50年は経っている</p> <p>・船幸祭では、神輿を運ぶ船を曳いたり、神主や関係者を乗せる船を運航したりするのに、漁業組合の力が必須になる</p> <p>・船幸祭では、神輿を船に乗せ、南郷にある御旅所まで行って帰ってくる。春の例祭では、中ノ島にある御旅所まで行って帰ってくる</p> <p>・建部大社は広大な寺領を今も有しており、三大寺のあたりは今も建部大社の土地であって、その借地料が大きな財源になっていると聞く。そのおかげで、「座」、「氏子」に大きな財政負担がなくても立派な祭礼が行えていると聞く</p> <p>・船幸祭のときは、沿道の住民が提灯を立てたり、幕を張ったりする</p> <p>・船幸祭のときは、瀬田川の兩岸で焚き木に火が灯される。焚き木は建部大社が用意しているようだが、火を灯し、それを設置するのは地元住民の協力で成り立っている</p> <p>・船幸祭の中で、雅楽が演奏される。昔は、地元の人たちで行っていたが、今は月輪から来てもらっている。式次第や演奏目録のようなものは建部大社に保管されていると思う</p> <p>・船幸祭では、次代の担ぎ手を育成するため、中学生ぐらいを対象にした軽い神輿を2,3年前に作った。まずは軽い神輿を担いで、大きくなったら本物を担ぐという流れができることを目指している</p> <p>・建部大社には毛知比神社と新茂智神社という末社がある</p> <p>・唐橋の東詰めは、昔は非常に栄えた商店街であった。田上、大石、石山からたくさん買い物客が来ていたと聞く。それを象徴するのが、瀬田の商店街には、お風呂屋、油屋など各種が2店ずつあった。通常の商店街では商店街内に1種1店が通常ののに、2店ずつあったというのは、それでも商売が成り立っていたという証拠</p> <p>・唐橋の東詰めは、漁業の町で、今も狭い道が残っているなどその名残が残っている</p> <p>・主に獲っていたのは、セタジミ。昔は、一回の漁で15キロぐらい獲れていたが、今は1〜2キロ</p> <p>・セタジミの貝殻は、昔は、焼き場があり、そこで粉々に砕き、粉末にして京都などで売っていたようだ。おしろい、漆喰、舗装の材料、二ツリ(のえき)などの用途に使われていたと聞く</p> <p>・セタジミは長い年で湖底をさらう漁法で収穫しており、今もその漁法が残っている。東海道五十三次の絵の中</p> </td> </tr> </table>	No.	1	No Image	学区	瀬田南学区	主な相手先	瀬田南地域文化振興関係者	日時	2019年3月14日(木曜)	概要	<p>・瀬田南学区で大きな活動と言えば、船幸祭であるが、もともとは春の例祭のほうが由緒ある祭りである</p> <p>・春の例祭では、建部大社から神輿が出る。昔は、瀬田の唐橋まで行って、氏子域になる唐橋の東詰めあたりを回っていたが、今は担ぎ手がおらず、建部大社から中ノ島間を往復するだけになった</p> <p>・建部大社の祭礼は、「氏子」、「座」という地元住民による組織で行われる。「座」の方が古くからの組織で、「座」だけでは祭礼が維持できなくなってきたことから、「氏子」が作られたと聞く</p> <p>・「座」である家の住民は、祭礼では大きな役目を与えられ、船幸祭などの祭礼では先頭を馬に乗って歩くなどをした。今は、馬に乗ることはなくなったが、今でも「座」が大きな役目を担う</p> <p>・「座」は、春の例祭や船幸祭だけでなく、それぞれの「座」が担当する別の祭礼もある</p> <p>・「座」は一族の家主が世襲してきた。分家の人間は絶対に「座」になることはできないものであったが、「座」も段々脱退する人や家主ではなく分家の人間が引き継ぐようになってきた</p> <p>・昔は、春の例祭も船幸祭も神輿の渡御が途中で休憩したりしながら進んだので非常にゆっくりであったが、今はすぐ行って、すぐ帰るような状態になっていて、少しさびしくなっている</p> <p>・昔は、船幸祭の当日の前に宵宮があり、「座」の子ども達が舞を奉納したりする行事をしていたが、今はなくなっている</p> <p>・船幸祭は、春の例祭に比べると歴史は浅いが、私(80代)が子どもの頃には行っていたので、50年は経っている</p> <p>・船幸祭では、神輿を運ぶ船を曳いたり、神主や関係者を乗せる船を運航したりするのに、漁業組合の力が必須になる</p> <p>・船幸祭では、神輿を船に乗せ、南郷にある御旅所まで行って帰ってくる。春の例祭では、中ノ島にある御旅所まで行って帰ってくる</p> <p>・建部大社は広大な寺領を今も有しており、三大寺のあたりは今も建部大社の土地であって、その借地料が大きな財源になっていると聞く。そのおかげで、「座」、「氏子」に大きな財政負担がなくても立派な祭礼が行えていると聞く</p> <p>・船幸祭のときは、沿道の住民が提灯を立てたり、幕を張ったりする</p> <p>・船幸祭のときは、瀬田川の兩岸で焚き木に火が灯される。焚き木は建部大社が用意しているようだが、火を灯し、それを設置するのは地元住民の協力で成り立っている</p> <p>・船幸祭の中で、雅楽が演奏される。昔は、地元の人たちで行っていたが、今は月輪から来てもらっている。式次第や演奏目録のようなものは建部大社に保管されていると思う</p> <p>・船幸祭では、次代の担ぎ手を育成するため、中学生ぐらいを対象にした軽い神輿を2,3年前に作った。まずは軽い神輿を担いで、大きくなったら本物を担ぐという流れができることを目指している</p> <p>・建部大社には毛知比神社と新茂智神社という末社がある</p> <p>・唐橋の東詰めは、昔は非常に栄えた商店街であった。田上、大石、石山からたくさん買い物客が来ていたと聞く。それを象徴するのが、瀬田の商店街には、お風呂屋、油屋など各種が2店ずつあった。通常の商店街では商店街内に1種1店が通常ののに、2店ずつあったというのは、それでも商売が成り立っていたという証拠</p> <p>・唐橋の東詰めは、漁業の町で、今も狭い道が残っているなどその名残が残っている</p> <p>・主に獲っていたのは、セタジミ。昔は、一回の漁で15キロぐらい獲れていたが、今は1〜2キロ</p> <p>・セタジミの貝殻は、昔は、焼き場があり、そこで粉々に砕き、粉末にして京都などで売っていたようだ。おしろい、漆喰、舗装の材料、二ツリ(のえき)などの用途に使われていたと聞く</p> <p>・セタジミは長い年で湖底をさらう漁法で収穫しており、今もその漁法が残っている。東海道五十三次の絵の中</p>		<table border="1"> <tr> <td>No.</td> <td>1</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">No Image</td> </tr> <tr> <td>学区</td> <td>瀬田南学区</td> </tr> <tr> <td>主な相手先</td> <td>瀬田南地域文化振興関係者</td> </tr> <tr> <td>日時</td> <td>2019年3月14日(木曜)</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td colspan="2"> <p>・瀬田南学区で大きな活動と言えば、船幸祭であるが、もともとは春の例祭のほうが由緒ある祭りである</p> <p>・春の例祭では、建部大社から神輿が出る。昔は、瀬田の唐橋まで行って、氏子域になる唐橋の東詰めあたりを回っていたが、今は担ぎ手がおらず、建部大社から中ノ島間を往復するだけになった</p> <p>・建部大社の祭礼は、「氏子」、「座」という地元住民による組織で行われる。「座」の方が古くからの組織で、「座」だけでは祭礼が維持できなくなってきたことから、「氏子」が作られたと聞く</p> <p>・「座」である家の住民は、祭礼では大きな役目を与えられ、船幸祭などの祭礼では先頭を馬に乗って歩くなどをした。今は、馬に乗ることはなくなったが、今でも「座」が大きな役目を担う</p> <p>・「座」は、春の例祭や船幸祭だけでなく、それぞれの「座」が担当する別の祭礼もある</p> <p>・「座」は一族の家主が世襲してきた。分家の人間は絶対に「座」になることはできないものであったが、「座」も段々脱退する人や家主ではなく分家の人間が引き継ぐようになってきた</p> <p>・昔は、春の例祭も船幸祭も神輿の渡御が途中で休憩したりしながら進んだので非常にゆっくりであったが、今はすぐ行って、すぐ帰るような状態になっていて、少しさびしくなっている</p> <p>・昔は、船幸祭の当日の前に宵宮があり、「座」の子ども達が舞を奉納したりする行事をしていたが、今はなくなっている</p> <p>・船幸祭は、春の例祭に比べると歴史は浅いが、私(80代)が子どもの頃には行っていたので、50年は経っている</p> <p>・船幸祭では、神輿を運ぶ船を曳いたり、神主や関係者を乗せる船を運航したりするのに、漁業組合の力が必須になる</p> <p>・船幸祭では、神輿を船に乗せ、南郷にある御旅所まで行って帰ってくる。春の例祭では、中ノ島にある御旅所まで行って帰ってくる</p> <p>・建部大社は広大な寺領を今も有しており、三大寺のあたりは今も建部大社の土地であって、その借地料が大きな財源になっていると聞く。そのおかげで、「座」、「氏子」に大きな財政負担がなくても立派な祭礼が行えていると聞く</p> <p>・船幸祭のときは、沿道の住民が提灯を立てたり、幕を張ったりする</p> <p>・船幸祭のときは、瀬田川の兩岸で焚き木に火が灯される。焚き木は建部大社が用意しているようだが、火を灯し、それを設置するのは地元住民の協力で成り立っている</p> <p>・船幸祭の中で、雅楽が演奏される。昔は、地元の人たちで行っていたが、今は月輪から来てもらっている。式次第や演奏目録のようなものは建部大社に保管されていると思う</p> <p>・船幸祭では、次代の担ぎ手を育成するため、中学生ぐらいを対象にした軽い神輿を2,3年前に作った。まずは軽い神輿を担いで、大きくなったら本物を担ぐという流れができることを目指している</p> <p>・建部大社には毛知比神社と新茂智神社という末社がある</p> <p>・唐橋の東詰めは、昔は非常に栄えた商店街であった。田上、大石、石山からたくさん買い物客が来ていたと聞く。それを象徴するのが、瀬田の商店街には、お風呂屋、油屋など各種が2店ずつあった。通常の商店街では商店街内に1種1店が通常ののに、2店ずつあったというのは、それでも商売が成り立っていたという証拠</p> <p>・唐橋の東詰めは、漁業の町で、今も狭い道が残っているなどその名残が残っている</p> <p>・主に獲っていたのは、セタジミ。昔は、一回の漁で15キロぐらい獲れていたが、今は1〜2キロ</p> <p>・セタジミの貝殻は、昔は、焼き場があり、そこで粉々に砕き、粉末にして京都などで売っていたようだ。おしろい、漆喰、舗装の材料、二ツリ(のえき)などの用途に使われていたと聞く</p> <p>・セタジミは長い年で湖底をさらう漁法で収穫しており、今もその漁法が残っている。東海道五十三次の絵の中</p> </td> </tr> </table>	No.	1	No Image	学区	瀬田南学区	主な相手先	瀬田南地域文化振興関係者	日時	2019年3月14日(木曜)	概要	<p>・瀬田南学区で大きな活動と言えば、船幸祭であるが、もともとは春の例祭のほうが由緒ある祭りである</p> <p>・春の例祭では、建部大社から神輿が出る。昔は、瀬田の唐橋まで行って、氏子域になる唐橋の東詰めあたりを回っていたが、今は担ぎ手がおらず、建部大社から中ノ島間を往復するだけになった</p> <p>・建部大社の祭礼は、「氏子」、「座」という地元住民による組織で行われる。「座」の方が古くからの組織で、「座」だけでは祭礼が維持できなくなってきたことから、「氏子」が作られたと聞く</p> <p>・「座」である家の住民は、祭礼では大きな役目を与えられ、船幸祭などの祭礼では先頭を馬に乗って歩くなどをした。今は、馬に乗ることはなくなったが、今でも「座」が大きな役目を担う</p> <p>・「座」は、春の例祭や船幸祭だけでなく、それぞれの「座」が担当する別の祭礼もある</p> <p>・「座」は一族の家主が世襲してきた。分家の人間は絶対に「座」になることはできないものであったが、「座」も段々脱退する人や家主ではなく分家の人間が引き継ぐようになってきた</p> <p>・昔は、春の例祭も船幸祭も神輿の渡御が途中で休憩したりしながら進んだので非常にゆっくりであったが、今はすぐ行って、すぐ帰るような状態になっていて、少しさびしくなっている</p> <p>・昔は、船幸祭の当日の前に宵宮があり、「座」の子ども達が舞を奉納したりする行事をしていたが、今はなくなっている</p> <p>・船幸祭は、春の例祭に比べると歴史は浅いが、私(80代)が子どもの頃には行っていたので、50年は経っている</p> <p>・船幸祭では、神輿を運ぶ船を曳いたり、神主や関係者を乗せる船を運航したりするのに、漁業組合の力が必須になる</p> <p>・船幸祭では、神輿を船に乗せ、南郷にある御旅所まで行って帰ってくる。春の例祭では、中ノ島にある御旅所まで行って帰ってくる</p> <p>・建部大社は広大な寺領を今も有しており、三大寺のあたりは今も建部大社の土地であって、その借地料が大きな財源になっていると聞く。そのおかげで、「座」、「氏子」に大きな財政負担がなくても立派な祭礼が行えていると聞く</p> <p>・船幸祭のときは、沿道の住民が提灯を立てたり、幕を張ったりする</p> <p>・船幸祭のときは、瀬田川の兩岸で焚き木に火が灯される。焚き木は建部大社が用意しているようだが、火を灯し、それを設置するのは地元住民の協力で成り立っている</p> <p>・船幸祭の中で、雅楽が演奏される。昔は、地元の人たちで行っていたが、今は月輪から来てもらっている。式次第や演奏目録のようなものは建部大社に保管されていると思う</p> <p>・船幸祭では、次代の担ぎ手を育成するため、中学生ぐらいを対象にした軽い神輿を2,3年前に作った。まずは軽い神輿を担いで、大きくなったら本物を担ぐという流れができることを目指している</p> <p>・建部大社には毛知比神社と新茂智神社という末社がある</p> <p>・唐橋の東詰めは、昔は非常に栄えた商店街であった。田上、大石、石山からたくさん買い物客が来ていたと聞く。それを象徴するのが、瀬田の商店街には、お風呂屋、油屋など各種が2店ずつあった。通常の商店街では商店街内に1種1店が通常ののに、2店ずつあったというのは、それでも商売が成り立っていたという証拠</p> <p>・唐橋の東詰めは、漁業の町で、今も狭い道が残っているなどその名残が残っている</p> <p>・主に獲っていたのは、セタジミ。昔は、一回の漁で15キロぐらい獲れていたが、今は1〜2キロ</p> <p>・セタジミの貝殻は、昔は、焼き場があり、そこで粉々に砕き、粉末にして京都などで売っていたようだ。おしろい、漆喰、舗装の材料、二ツリ(のえき)などの用途に使われていたと聞く</p> <p>・セタジミは長い年で湖底をさらう漁法で収穫しており、今もその漁法が残っている。東海道五十三次の絵の中</p>	
No.	1	No Image																							
学区	瀬田南学区																								
主な相手先	瀬田南地域文化振興関係者																								
日時	2019年3月14日(木曜)																								
概要	<p>・瀬田南学区で大きな活動と言えば、船幸祭であるが、もともとは春の例祭のほうが由緒ある祭りである</p> <p>・春の例祭では、建部大社から神輿が出る。昔は、瀬田の唐橋まで行って、氏子域になる唐橋の東詰めあたりを回っていたが、今は担ぎ手がおらず、建部大社から中ノ島間を往復するだけになった</p> <p>・建部大社の祭礼は、「氏子」、「座」という地元住民による組織で行われる。「座」の方が古くからの組織で、「座」だけでは祭礼が維持できなくなってきたことから、「氏子」が作られたと聞く</p> <p>・「座」である家の住民は、祭礼では大きな役目を与えられ、船幸祭などの祭礼では先頭を馬に乗って歩くなどをした。今は、馬に乗ることはなくなったが、今でも「座」が大きな役目を担う</p> <p>・「座」は、春の例祭や船幸祭だけでなく、それぞれの「座」が担当する別の祭礼もある</p> <p>・「座」は一族の家主が世襲してきた。分家の人間は絶対に「座」になることはできないものであったが、「座」も段々脱退する人や家主ではなく分家の人間が引き継ぐようになってきた</p> <p>・昔は、春の例祭も船幸祭も神輿の渡御が途中で休憩したりしながら進んだので非常にゆっくりであったが、今はすぐ行って、すぐ帰るような状態になっていて、少しさびしくなっている</p> <p>・昔は、船幸祭の当日の前に宵宮があり、「座」の子ども達が舞を奉納したりする行事をしていたが、今はなくなっている</p> <p>・船幸祭は、春の例祭に比べると歴史は浅いが、私(80代)が子どもの頃には行っていたので、50年は経っている</p> <p>・船幸祭では、神輿を運ぶ船を曳いたり、神主や関係者を乗せる船を運航したりするのに、漁業組合の力が必須になる</p> <p>・船幸祭では、神輿を船に乗せ、南郷にある御旅所まで行って帰ってくる。春の例祭では、中ノ島にある御旅所まで行って帰ってくる</p> <p>・建部大社は広大な寺領を今も有しており、三大寺のあたりは今も建部大社の土地であって、その借地料が大きな財源になっていると聞く。そのおかげで、「座」、「氏子」に大きな財政負担がなくても立派な祭礼が行えていると聞く</p> <p>・船幸祭のときは、沿道の住民が提灯を立てたり、幕を張ったりする</p> <p>・船幸祭のときは、瀬田川の兩岸で焚き木に火が灯される。焚き木は建部大社が用意しているようだが、火を灯し、それを設置するのは地元住民の協力で成り立っている</p> <p>・船幸祭の中で、雅楽が演奏される。昔は、地元の人たちで行っていたが、今は月輪から来てもらっている。式次第や演奏目録のようなものは建部大社に保管されていると思う</p> <p>・船幸祭では、次代の担ぎ手を育成するため、中学生ぐらいを対象にした軽い神輿を2,3年前に作った。まずは軽い神輿を担いで、大きくなったら本物を担ぐという流れができることを目指している</p> <p>・建部大社には毛知比神社と新茂智神社という末社がある</p> <p>・唐橋の東詰めは、昔は非常に栄えた商店街であった。田上、大石、石山からたくさん買い物客が来ていたと聞く。それを象徴するのが、瀬田の商店街には、お風呂屋、油屋など各種が2店ずつあった。通常の商店街では商店街内に1種1店が通常ののに、2店ずつあったというのは、それでも商売が成り立っていたという証拠</p> <p>・唐橋の東詰めは、漁業の町で、今も狭い道が残っているなどその名残が残っている</p> <p>・主に獲っていたのは、セタジミ。昔は、一回の漁で15キロぐらい獲れていたが、今は1〜2キロ</p> <p>・セタジミの貝殻は、昔は、焼き場があり、そこで粉々に砕き、粉末にして京都などで売っていたようだ。おしろい、漆喰、舗装の材料、二ツリ(のえき)などの用途に使われていたと聞く</p> <p>・セタジミは長い年で湖底をさらう漁法で収穫しており、今もその漁法が残っている。東海道五十三次の絵の中</p>																								
No.	1	No Image																							
学区	瀬田南学区																								
主な相手先	瀬田南地域文化振興関係者																								
日時	2019年3月14日(木曜)																								
概要	<p>・瀬田南学区で大きな活動と言えば、船幸祭であるが、もともとは春の例祭のほうが由緒ある祭りである</p> <p>・春の例祭では、建部大社から神輿が出る。昔は、瀬田の唐橋まで行って、氏子域になる唐橋の東詰めあたりを回っていたが、今は担ぎ手がおらず、建部大社から中ノ島間を往復するだけになった</p> <p>・建部大社の祭礼は、「氏子」、「座」という地元住民による組織で行われる。「座」の方が古くからの組織で、「座」だけでは祭礼が維持できなくなってきたことから、「氏子」が作られたと聞く</p> <p>・「座」である家の住民は、祭礼では大きな役目を与えられ、船幸祭などの祭礼では先頭を馬に乗って歩くなどをした。今は、馬に乗ることはなくなったが、今でも「座」が大きな役目を担う</p> <p>・「座」は、春の例祭や船幸祭だけでなく、それぞれの「座」が担当する別の祭礼もある</p> <p>・「座」は一族の家主が世襲してきた。分家の人間は絶対に「座」になることはできないものであったが、「座」も段々脱退する人や家主ではなく分家の人間が引き継ぐようになってきた</p> <p>・昔は、春の例祭も船幸祭も神輿の渡御が途中で休憩したりしながら進んだので非常にゆっくりであったが、今はすぐ行って、すぐ帰るような状態になっていて、少しさびしくなっている</p> <p>・昔は、船幸祭の当日の前に宵宮があり、「座」の子ども達が舞を奉納したりする行事をしていたが、今はなくなっている</p> <p>・船幸祭は、春の例祭に比べると歴史は浅いが、私(80代)が子どもの頃には行っていたので、50年は経っている</p> <p>・船幸祭では、神輿を運ぶ船を曳いたり、神主や関係者を乗せる船を運航したりするのに、漁業組合の力が必須になる</p> <p>・船幸祭では、神輿を船に乗せ、南郷にある御旅所まで行って帰ってくる。春の例祭では、中ノ島にある御旅所まで行って帰ってくる</p> <p>・建部大社は広大な寺領を今も有しており、三大寺のあたりは今も建部大社の土地であって、その借地料が大きな財源になっていると聞く。そのおかげで、「座」、「氏子」に大きな財政負担がなくても立派な祭礼が行えていると聞く</p> <p>・船幸祭のときは、沿道の住民が提灯を立てたり、幕を張ったりする</p> <p>・船幸祭のときは、瀬田川の兩岸で焚き木に火が灯される。焚き木は建部大社が用意しているようだが、火を灯し、それを設置するのは地元住民の協力で成り立っている</p> <p>・船幸祭の中で、雅楽が演奏される。昔は、地元の人たちで行っていたが、今は月輪から来てもらっている。式次第や演奏目録のようなものは建部大社に保管されていると思う</p> <p>・船幸祭では、次代の担ぎ手を育成するため、中学生ぐらいを対象にした軽い神輿を2,3年前に作った。まずは軽い神輿を担いで、大きくなったら本物を担ぐという流れができることを目指している</p> <p>・建部大社には毛知比神社と新茂智神社という末社がある</p> <p>・唐橋の東詰めは、昔は非常に栄えた商店街であった。田上、大石、石山からたくさん買い物客が来ていたと聞く。それを象徴するのが、瀬田の商店街には、お風呂屋、油屋など各種が2店ずつあった。通常の商店街では商店街内に1種1店が通常ののに、2店ずつあったというのは、それでも商売が成り立っていたという証拠</p> <p>・唐橋の東詰めは、漁業の町で、今も狭い道が残っているなどその名残が残っている</p> <p>・主に獲っていたのは、セタジミ。昔は、一回の漁で15キロぐらい獲れていたが、今は1〜2キロ</p> <p>・セタジミの貝殻は、昔は、焼き場があり、そこで粉々に砕き、粉末にして京都などで売っていたようだ。おしろい、漆喰、舗装の材料、二ツリ(のえき)などの用途に使われていたと聞く</p> <p>・セタジミは長い年で湖底をさらう漁法で収穫しており、今もその漁法が残っている。東海道五十三次の絵の中</p>																								

参考

参考

参-17

参-17